PRIFNW7

取扱説明書

本製品を接続したプリンタをネットワークプリンタとして使用するために必要となる情報を詳しく説明しています。

また各種トラブルの解決方法やお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD4175-00

マークの意味

 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- お使いの機種により表示される画面が異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 95」、「Windows NT」、「Windows 98」、「Windows 2000」、「Windows Me」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」、「Windows Vista」、「Windows Server 2008」、「Windows 7」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v10.2 ～ v10.6.x
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記しています。また、これらの総称として「Mac OS」を使用しています。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
Apple、Mac、Macintosh、Rosetta、Bonjour、AppleTalk、Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

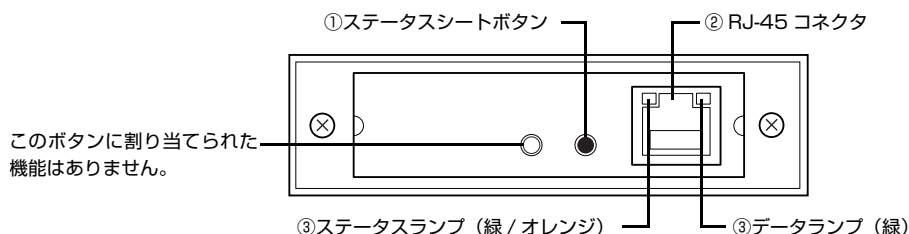
1 設定の前に

本製品の機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

本製品の特長

- 本製品は、プリンタをネットワークプリンタとして使うためのネットワークインターフェイスです。プリンタのオプションインターフェイススロットに装着して使います。
- 10Base-T/100Base-TX 用 RJ-45 コネクタを装備しています。
- プリンタ MIB に対応したプリンタへ接続すると、SNMP、プリンタ MIB を使用しての管理ができます。
- Mac OS v10.2.4 以降で提供される Bonjour/Rendezvous 機能に対応しています。本製品を装着したプリンタが DHCP または Zeroconf（APIPA）機能などで IP アドレスを取得している環境において有効な機能です。Bonjour/Rendezvous 機能については、以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 10 ページ「Bonjour 印刷 /Rendezvous 印刷」
- TCP/IP プロトコルを使用した印刷を制限することができます（IP 印刷アクセス制御）。制限する対象の IP アドレスを入力して特定することができます。

各部の名称と働き

本製品の各部の名称と機能を説明します。

①ステータスシートボタン

＜ステータスシートの印刷＞

ネットワークステータスシートを印刷します。このボタンを 1 回押すと、簡易ステータスシート（1 枚）が印刷されます。素早く 2 回押すと、さらに詳しいフルステータスシート（3 枚）が印刷されます。それぞれのネットワークステータスシートには、本製品の現在の設定状況が印刷されます。

次の場合、ネットワークステータスシートは印刷できません。

・プリンタが印刷不可状態のとき

・プリンタが印刷中のとき

＜工場出荷時への戻し方＞

このボタンを押し続けながらプリンタの電源を入れると、本製品が工場出荷時の設定に戻ります。この場合は、データランプが点灯したあと 2 つのランプが一旦消灯し、その後 2 つのランプが点灯または点滅に変わるまで、[ステータスシート] ボタンを押し続けてください。LAN ケーブルを接続していない場合は、ステータスランプが点灯に変わるまで、[ステータスシート] ボタンを押し続けてください。

② RJ-45 コネクタ

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

③通信状態表示ランプ

本製品の状態を示します。

ステータスランプ	データランプ	状態
緑点灯	点灯	10Base-T で接続されている状態
緑点灯	点滅	10Base-T でデータ送受信中
オレンジ点灯	点灯	100Base-TX で接続されている状態
オレンジ点灯	点滅	100Base-TX でデータ送受信中
消灯	点灯後、消灯	初期化動作中
オレンジ点滅	点滅	ファームウェア更新中
オレンジ点滅	点灯	エラー

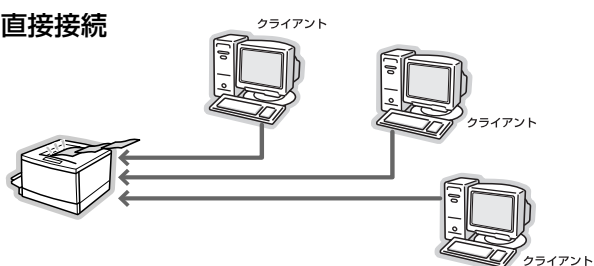
印刷環境の確認

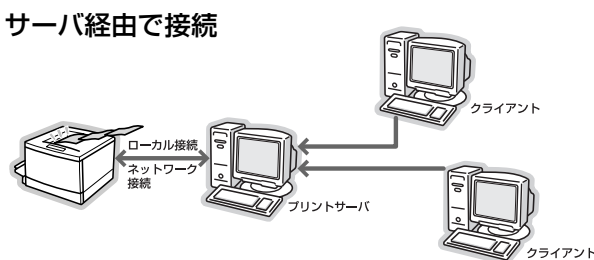
本製品の設定を始める前に、以下を参照してお使いのネットワーク環境と手順を確認します。

わからない用語は用語集を参照してください。
本書 93 ページ「用語集」

接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本製品を使うには 2 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。

直接接続

長所：サーバ用コンピュータを用意する必要がない
短所：各コンピュータにネットワーク印刷をするための設定が必要
利用に適した環境：SOHO などの小規模ネットワーク

サーバ経由で接続

長所：印刷をする各コンピュータ（クライアント）でネットワーク印刷をするための設定が容易
短所：別途サーバ用コンピュータが必要
利用に適した環境：オフィスや学校などの大規模ネットワーク

直接接続や、サーバ経由接続でサーバとプリンタを直接接続する場合は、次に印刷方法を確認します。サーバ経由接続でサーバとプリンタをローカル（USB ケーブル）接続する場合は、プリンタの取扱説明書を参照してサーバとプリンタを接続してください。

印刷方法の確認

直接接続の印刷方法は OS によって異なります。

OS とバージョン	印刷方法
Windows 95 Windows 98	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷（EpsonNet Internet Print を使用） • Microsoft ネットワークプリンタ共有印刷
Windows Me	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷 • Microsoft ネットワークプリンタ共有印刷
Windows NT4.0	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷（EpsonNet Internet Print を使用） • Microsoft ネットワークプリンタ共有印刷
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷 • Microsoft ネットワークプリンタ共有印刷
Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x	• AppleTalk 印刷
Mac OS X v10.2 以降	• EPSON AppleTalk 印刷（Mac OS X v10.5 以降エプソン製プリンタドライバは非対応） • EPSON TCP/IP 印刷 • Rendezvous 印刷（Mac OS X v10.2.4 ～ v10.3.9） • Bonjour 印刷（Mac OS X v10.4 以降）

- Windows NT は、Windows NT（Intel 版）のみ対応しています。
- Mac OS 9 のマルチユーザー環境には対応していません。

次に印刷方法の概要と特徴を参考に印刷方法を決定してください。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、IP アドレスを自動追従します。
- Windows 95/Windows 98/Windows Me からネットワーク直接接続を可能にします。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選択できます。
- Windows のスプーラ画面の上部に、本製品のステータスを表示します。

標準 TCP/IP 印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

インターネット印刷（TCP/IP プロトコルを使用）

- Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008（サービスの追加が必要）/Windows 7に搭載されている印刷方法です（Windows 95/Windows 98/Windows NT4.0 では EpsonNet Internet Print ソフトウェアが必要）。
- プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えた場所にあるプリンタを使用できます。
- EPSON ステータスモニタやプリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- IP アドレスや DNS などの設定が必要です。
- ルータやプロキシサーバに対して、Port631 を利用する設定が必要です。
- サーバ経由接続の環境では使用できません。

Microsoft ネットワークプリンタ共有印刷

- IP アドレスの設定が不要なため、設定が簡単です。（Windows XP/Windows Server 2003 では必要）
- ネットワークプリンタの検索に時間がかかり、印刷が通常よりも遅くなることがあります。
- EPSON ステータスモニタやプリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- ルータを越えた場所にあるプリンタは使用できません。

AppleTalk 印刷 /EPSON AppleTalk 印刷

- IP アドレスの設定が不要なため、設定が簡単です。
- Mac OS 9 環境ではサーバ経由接続は利用できません。
- Mac OS X v10.5 以降では、エプソン製プリンタドライバは使用できません。

EPSON TCP/IP 印刷

- サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、本製品の IP アドレスを設定し直す必要がありません。
- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにすることを推奨します。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour 印刷 /Rendezvous 印刷

- Mac OS 9 では使用できません。
- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。
- Bonjour/Rendezvous で印刷するには、本製品に同梱のソフトウェアを使用して、「Bonjour 機能」を有効にしてください。詳細は以下を参照してください。
  ☞ 本書 35 ページ「［TCP/IP］－［Bonjour］画面」

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピュータのネットワーク設定に進みます。
☞ 本書 11 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

本製品の対応プリンタ

本製品を使用できるプリンタについては、エプソンのホームページで最新情報を確認できます。

http://www.epson.jp/

2 コンピュータのネットワーク設定

コンピュータから本製品の設定や印刷をするには、あらかじめコンピュータにネットワークに関する設定をしておきます。ここでは、その手順を説明します。

Windows 2000 以降

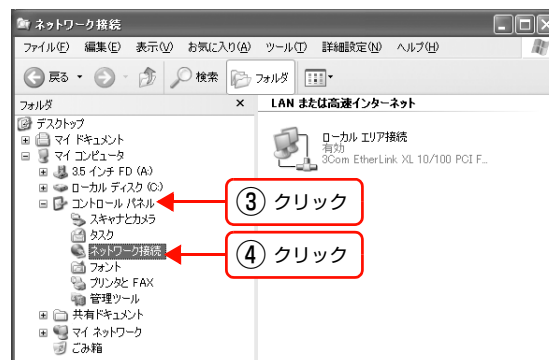
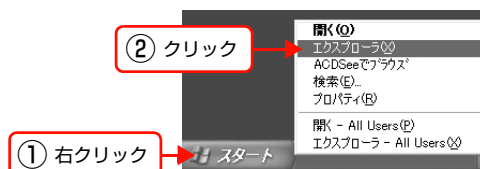
ここでは、Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/ Windows 7 の OS での設定方法を説明します。

各プロトコル（TCP/IP、NetBEUI、Microsoft ネットワーク）が組み込まれていることを確認します。確認後、各種アドレスの設定がされていることを確認します。
すでに各プロトコルが利用可能な状態になっている場合は、以下のページに進んでください。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

Windows XP/Windows Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷できます（TCP/IP を組み込み IP アドレスの設定が必要）。

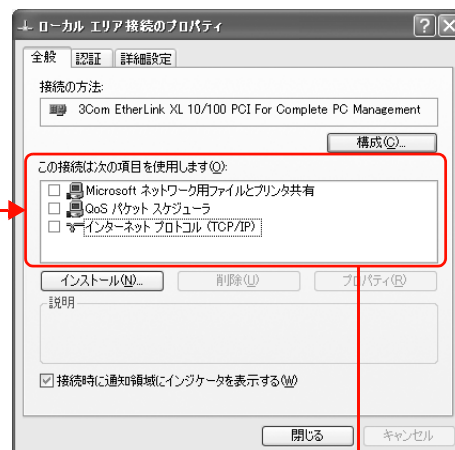
コンポーネント（プロトコル）の確認

必要なコンポーネント（プロトコル）がコンピュータに組み込まれていることを確認します。

1 **［スタート］を右クリックし、［エクスプローラ］をクリックして、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。**
Windows Server 2003：
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］の順にクリック
Windows 2000：
［マイネットワーク］を右クリックして、［プロパティ］をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ ］（または［スタート］）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワーク接続の管理］をクリック
Windows 7：
［ ］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［アダプターの設定の変更］をクリック

2 **［ローカルエリア接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので、［続行］をクリック

3 **下表を参照して、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

本製品の設定のみするときは、インターネットプロトコルか NetBEUI プロトコルのいずれかが組み込まれていれば設定できます。

選択した印刷方法によって必要なコンポーネントが異なります。

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print（LPR）印刷 標準 TCP/IP（LPR）印刷 インターネット（IPP）印刷	インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク プリンタ共有印刷※	• NetBEUI プロトコル(Windows XP/Windows Server 2003 は NetBEUI に対応していないため TCP/IP が必要) • Microsoft ネットワーク用クライアント

※ Windows Vista 以降非対応

- 必要なコンポーネントがすでに組み込まれている場合は、コンポーネントにチェックを付けて以下のページに進みます。
  TCP/IP の場合：
  ☞ 本書 14 ページ「アドレスの確認」
  NetBEUI、Microsoft ネットワーククライアントの場合：
  ☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、［インストール］をクリックして、コンポーネントをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。

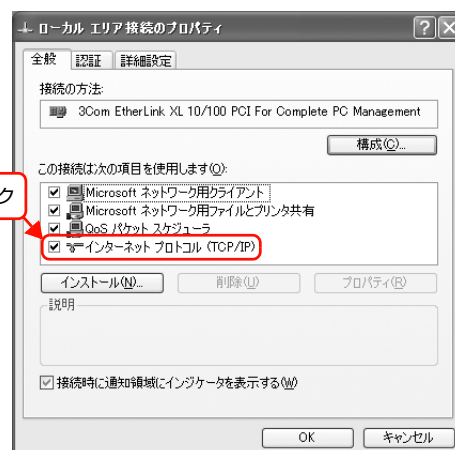
以上で終了です。

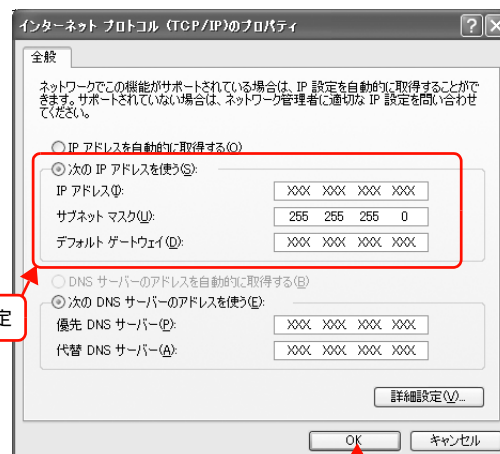
アドレスの確認

LPR または IPP 印刷をする場合は、コンピュータに IP アドレスなどの各種アドレスの設定が必要です。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **コンポーネントの確認の手順 1、2 を参考にして、「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を表示します。**

2 **［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をダブルクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［インターネットプロトコル バージョン 4］をダブルクリック

3 **各種アドレスを設定して、[OK]をクリックします。**

DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IP アドレスを自動的に取得する］を選択します。

4 **コンピュータを再起動します。**

以上で終了です。

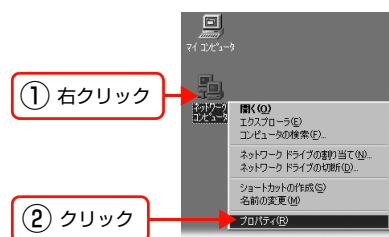
次に本製品を設定します。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

Windows 95/Windows 98/Windows Me

各プロトコル（TCP/IP、NetBEUI、Microsoft ネットワーク）が組み込まれていることを確認します。確認後、TCP/IP のみ各種アドレスの設定がされていることを確認します。
すでに各プロトコルが利用可能な状態になっている場合は、以下のページに進んでください。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

コンポーネント（プロトコル）の確認

必要なコンポーネント（プロトコル）がコンピュータに組み込まれていることを確認します。

1 **［ネットワークコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows Me：
［マイネットワーク］を右クリックして、［プロパティ］をクリック

2 **下表を参照して、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**
本製品の設定のみするときは、インターネットプロトコルか NetBEUI プロトコルのいずれかが組み込まれていれば設定できます。
選択した印刷方法によって必要なコンポーネントが異なります。

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print（LPR）印刷 標準 TCP/IP（LPR）印刷 インターネット（IPP）印刷	TCP/IP
Microsoft ネットワーク プリンタ共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント

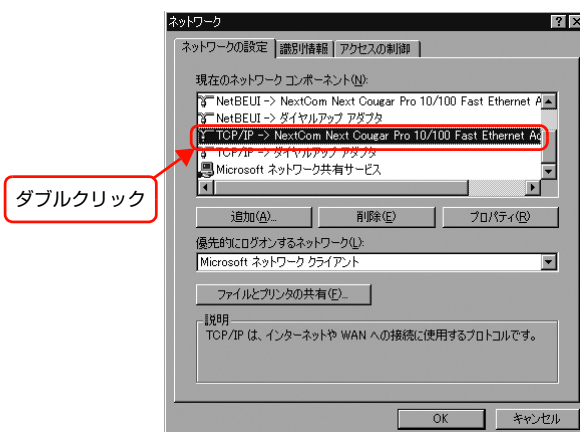
- 必要なコンポーネントがすでに組み込まれている場合は、以下のページに進みます。
  TCP/IP の場合：
  ☞ 本書 16 ページ「アドレスの確認」
  NetBEUI、Microsoft ネットワーククライアントの場合：
  ☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」
- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、［追加］をクリックして、コンポーネントをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。

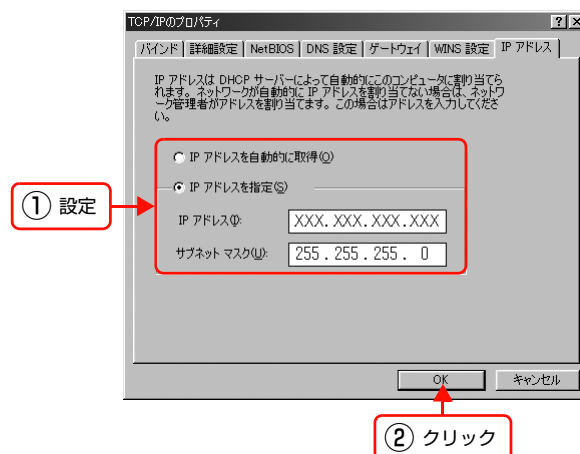
以上で終了です。

アドレスの確認

LPR または IPP 印刷をする場合は、コンピュータに IP アドレスなどの各種アドレスの設定が必要です。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **コンポーネントの確認の手順 1、2 を参考にして、［ネットワーク］画面を表示します。**

2 **［TCP/IP］をダブルクリックします。**

3 **各種アドレスを設定して、[OK] をクリックします。**

DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IP アドレスを自動的に取得する］を選択します。

4 **コンピュータを再起動します。**

以上で終了です。

次に本製品を設定します。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

Windows NT4.0

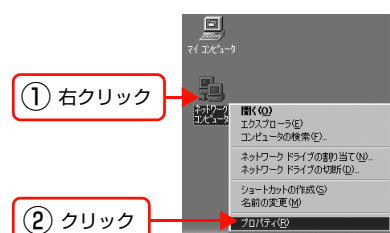
各プロトコル（TCP/IP、NetBEUI、Microsoft ネットワーク）が組み込まれていることを確認します。確認後、TCP/IP のみ各種アドレスの設定がされていることを確認します。

すでに各プロトコルが利用可能な状態になっている場合は、以下のページに進んでください。

本書 24 ページ「本製品の設定」

コンポーネント（プロトコル）の確認

必要なコンポーネント（プロトコル）がコンピュータに組み込まれていることを確認します。

1 **［ネットワークコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

2 **下表を参照して、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print（LPR）印刷 標準 TCP/IP（LPR）印刷 インターネット（IPP）印刷	TCP/IP
Microsoft ネットワーク プリンタ共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント

- 必要なコンポーネントがすでに組み込まれている場合は、以下のページに進みます。
  TCP/IP の場合：
  本書 18 ページ「アドレスの確認」
  NetBEUI、Microsoft ネットワーククライアントの場合：
  本書 24 ページ「本製品の設定」
- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、［プロトコル］タブまたは［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックして、コンポーネントをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。

以上で終了です。

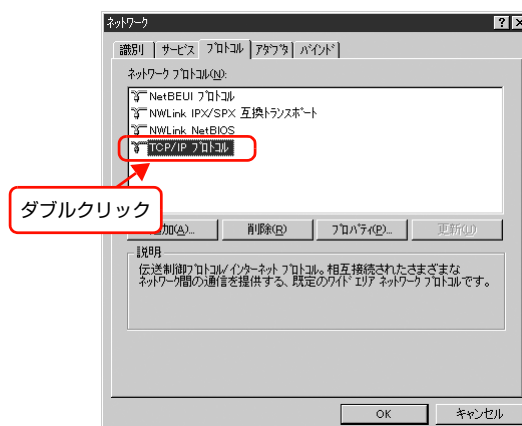
アドレスの確認

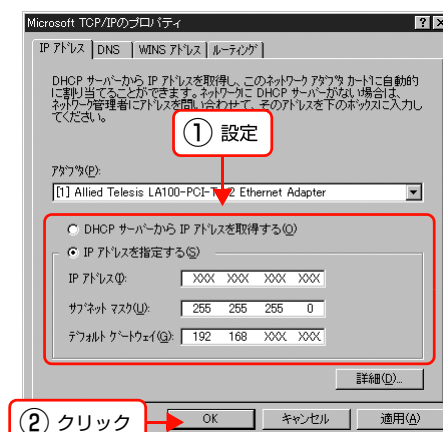
LPR または IPP 印刷をする場合は、コンピュータに IP アドレスなどの各種アドレスの設定が必要です。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。

☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **コンポーネントの確認の手順 1、2 を参考にして、［ネットワーク］画面を表示します。**

2 **［TCP/IP プロトコル］をダブルクリックします。**

3 **各種アドレスを設定して、[OK] をクリックします。**

DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IP アドレスを自動的に取得］を選択します。

4 **コンピュータを再起動します。**

以上で終了です。

次に本製品を設定します。

☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

Mac OS X

各プロトコル（AppleTalk、TCP/IP）を設定します。プロトコルを設定するには管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。
☞ 本書 19 ページ「AppleTalk を設定する」
☞ 本書 20 ページ「TCP/IP を設定する」

Bonjour/Rendezvous を使用して印刷するときは、IP アドレスを DHCP または Zeroconf（APIPA）などで取得してください。設定方法は以下を参照してください。
☞ 本書 20 ページ「TCP/IP を設定する」

すでに各プロトコルが利用可能な場合は、以下のページに進みます。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

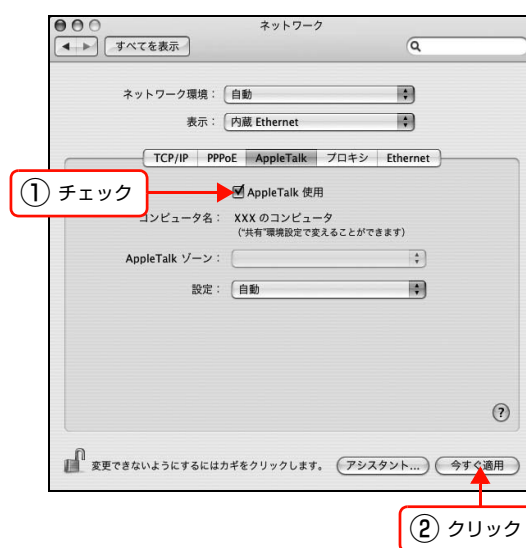
- EpsonNet Config（Web）を使うには、コンピュータとネットワークインターフェイスに、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
  ☞ 本書 20 ページ「TCP/IP を設定する」
  ソフトウェアの詳細は、以下を参照してください。
  ☞ 本書 65 ページ「関連ソフトウェアのご案内」
- Bonjour/Rendezvous で印刷するには、本製品に同梱のソフトウェアを使用して、ネットワークインターフェイスの「Bonjour 機能」を有効にしてください。詳細は以下を参照してください。
  ☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

AppleTalk を設定する

EPSON AppleTalk（Mac OS X v10.5 以降エプソン製プリンタドライバは非対応）で印刷するときに設定してください。

1 **［アップル］メニュー－［システム環境設定］－［ネットワーク］－［AppleTalk］タブをクリックします。**

［AppleTalk］タブが見当たらないときは、［場所：］が［自動］になっていることを確認し、［ネットワーク］画面の［表示：］で［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。
なお、［表示：］の項目は、OS のバージョンによって異なります。

2 **［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］をクリックします。**

以上で終了です。

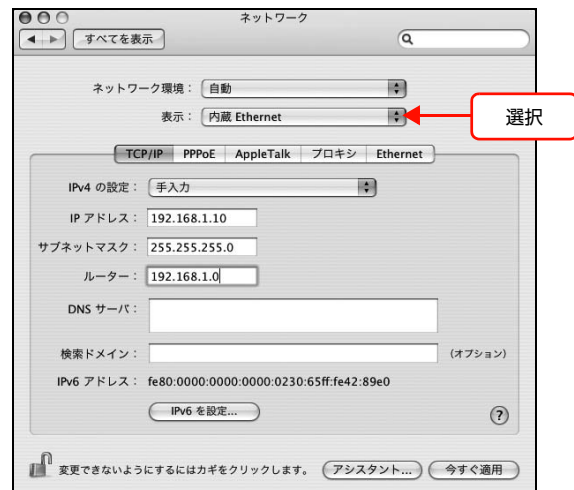
次に本製品を設定します。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

TCP/IP を設定する

各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **［アップル］メニュー－［システム環境設定］－［ネットワーク］の順にクリックします。**

2 **［ネットワーク］画面の［表示：］で［内蔵 Ethernet］を選択します。**

Mac OS X v10.2 ～ Mac OS X v10.4

Mac OS X v10.5.x 以降

3 **TCP/IP の設定画面を表示します。**
Mac OS X v10.5.x 以降：
手順 4 へ進む
Mac OS X v10.4：
［ネットワーク環境：］が［自動］になっていることを確認して［TCP/IP］タブをクリック
Mac OS X v10.2 ～ v10.3：
［場所：］が［自動］になっていることを確認して［TCP/IP］タブをクリック

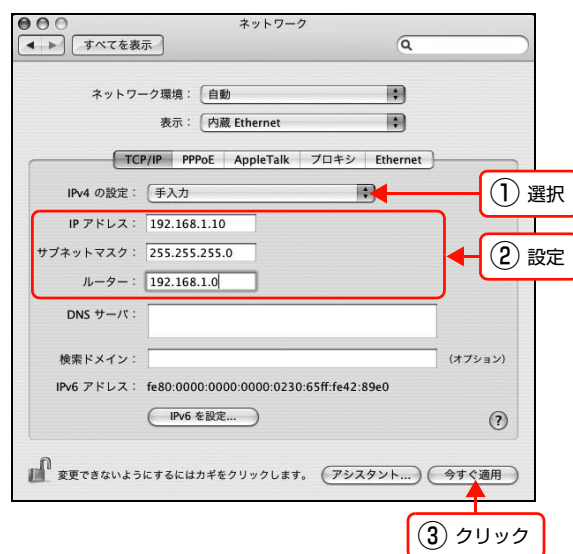
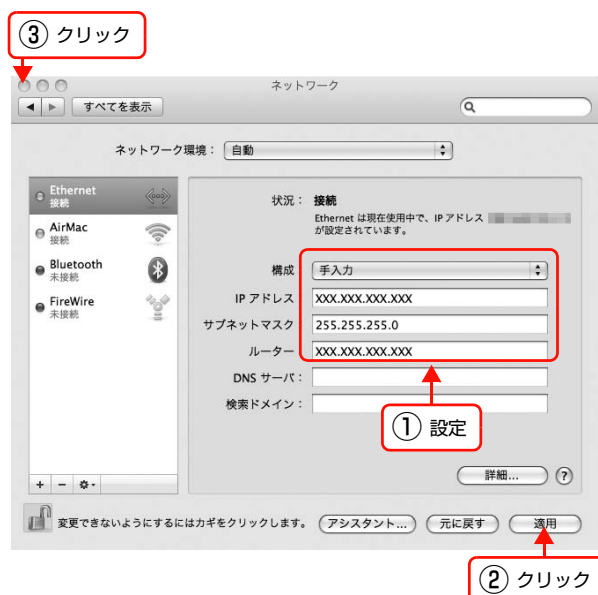
4 **必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］または［適用］をクリックします。**

各種アドレスなどがわからないときは、以下を参照してください。

☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

参考

- DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IPv4 を設定 :］または［IPv4 の設定 :］で［DHCP サーバを参照］を選択します。
- 必要に応じてDNSサーバも設定してください(詳細はサービスプロバイダおよびネットワーク管理者に確認してください)。

Mac OS X v10.2 ～ Mac OS X v10.4

Mac OS X v10.5.x 以降

以上で終了です。

次に本製品を設定します。

☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

Mac OS 9

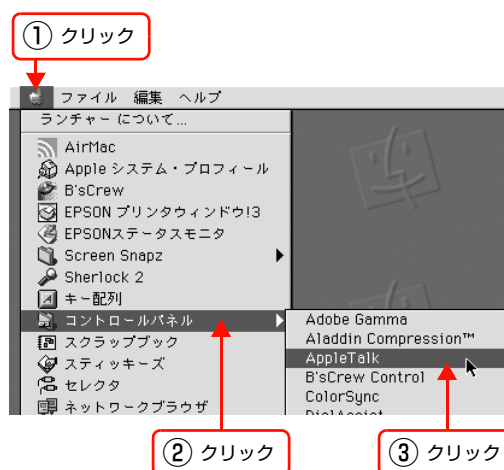
各プロトコル（AppleTalk、TCP/IP）を設定します。
☞ 本書 22 ページ「AppleTalk を設定する」
☞ 本書 23 ページ「TCP/IP アドレスを設定する」

すでに各プロトコルが利用可能な場合は、以下のページに進みます。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

EpsonNet Config（Web）を使うには、コンピュータに IP アドレスを設定してください。
☞ 本書 23 ページ「TCP/IP アドレスを設定する」
ソフトウェアの詳細は、以下を参照してください。
☞ 本書 65 ページ「関連ソフトウェアのご案内」

AppleTalk を設定する

AppleTalk で印刷をするときに設定してください。

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］－［AppleTalk］を選択します。**

2 **［経由先：］から［Ethernet］を選択します。**
アップルメニューにある［セレクタ］の［AppleTalk］が［切］になっていると、［入］にするようメッセージが表示されます。このときは［はい］をクリックして、AppleTalk を［入］にしてください。

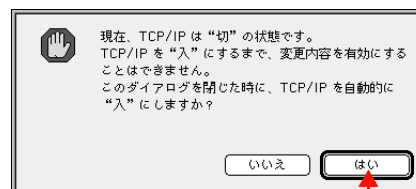
以上で終了です。

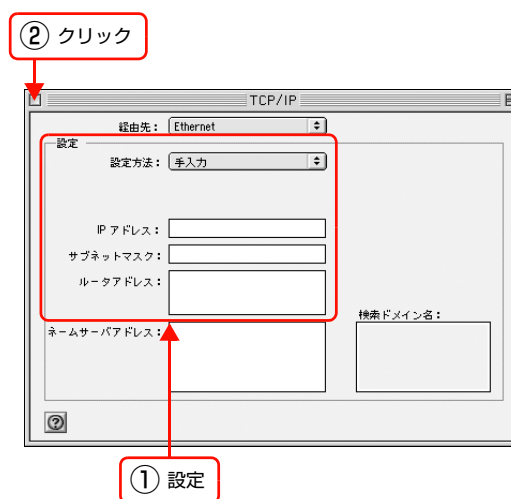
次に本製品を設定します。
☞ 本書 24 ページ「本製品の設定」

TCP/IP アドレスを設定する

各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
『セットアップガイド』（紙マニュアル）－「ネットワークの基礎知識」

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。**

2 **右の画面が表示されたら［はい］をクリックします。**

3 **［経由先：］から［Ethernet］を選択します。**

4 **各種アドレスを設定します。**
アドレスを設定したら、画面左上のクローズボックスをクリックします。

以上で終了です。

次に本製品を設定します。
本書 24 ページ「本製品の設定」

3 本製品の設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、本製品を設定します。
本製品の設定を始める前に、プリンタが印刷可能な状態か確認してください。プリンタがセットアップされていないときは、プリンタの取扱説明書を参照してください。

設定方法の紹介

本製品を設定するには、同梱のソフトウェアを使って設定します。ソフトウェア CD-ROM には以下の設定ソフトウェアが収録されています。

- EpsonNet EasyInstall
- EpsonNet Config

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EpsonNet EasyInstall

ウィザード形式で、簡単にアドレスの設定ができるソフトウェアです。本ソフトウェアはソフトウェア CD-ROM から起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。
Windows では、EpsonNet Print のインストールと、アドレス設定後に直接印刷用のプリンタポートを自動作成します。
Mac OS では、アドレスの設定のみします。

それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP など）の設定は、EpsonNet Config で設定してください。
EpsonNet EasyInstall での設定方法は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照してください。

Windows 95ではEpsonNet EasyInstallを使用しての設定はできません。Windows 95をお使いの場合はEpsonNet Config で設定してください。

EpsonNet Config

本製品の各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。Windows 版、Mac OS 版、Web 版があります。
Windows 版、Mac OS 版はコンピュータにインストールしてから使用します。
本書では、Windows 版および Mac OS 版を「EpsonNet Config」、Web 版を「EpsonNet Config（Web）」と記載しています。
インストール手順など詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 26 ページ「EpsonNet Config で設定する」

Web 版は本製品に内蔵されており、コンピュータの Web ブラウザから起動します。本製品およびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。
使い方の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 81 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

EpsonNet Configで設定する

本製品の設定には、本製品に同梱の EpsonNet Config Ver.3 をお使いください。
動作環境の確認後に、ソフトウェアをインストールしてください。

動作環境

EpsonNet Config Ver.3 は、以下の環境で動作します。

OS	• Windows 2000 • Windows XP • Windows Server 2003 • Windows Vista • Windows Server 2008 • Windows 7	• Mac OS X v10.2.8 以降
ハードディスク	15MB 以上の空き容量	
表示	解像度：800 × 600 ドット以上	

Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Mac OS 9 で EpsonNet Config を使用する場合は、下記のいずれかの方法で Ver.2 または Ver.1.9 を入手してください。

- 本製品のソフトウェア CD-ROM の［ネットワークソフトウェアのインストールをする］または［ネットワークソフトウェアのインストール］から、［EpsonNet Config Ver.2 のダウンロード］または［EpsonNet Config Ver.1.9 のダウンロード］をクリックしてダウンロード
- エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）からダウンロード

EpsonNet Configをインストールする

EpsonNet Config Ver.3 のインストール手順を説明します。
インストールする際は、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

Mac OS X v10.6.x へインストール時に、Rosetta *のインストールを促すメッセージが表示されることがあります。そのときはメッセージに従い、Rosetta を追加してから EpsonNet Config をインストールしてください。
Rosetta は Mac OS X DVD などからインストールできます。

* Power PC で動作するアプリケーションを、Intel ベースの Mac で動作させるためのソフトウェアです。詳細はアップル社のホームページをご覧ください。

参考

- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。
- インストールしたソフトウェアの削除方法は、EpsonNet ソフトウェアの削除方法を参照してください。
☞ 本書 86 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」

1 コンピュータに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［自動再生］画面で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリック
Mac OS X：デスクトップの［EPSON］をダブルクリックして、［Mac OS X 用］をダブルクリック

2 画面の内容を確認して、［次へ］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］または［はい］をクリックしてから、［次へ］をクリック

3 使用許諾契約書の画面が表示されたときは、内容を確認して［同意する］をクリックします。

4 ［ネットワークソフトウェアのインストールをする］をクリックします。
Windows：5 に進む
Mac OS X：6 に進む

5 ［設定ユーティリティ］をクリックします。

6 ［EpsonNet Config Ver.3 のインストール］をクリックします。

7 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。
Mac OS X では、インストール終了後に［再起動］をクリックします。

以上で終了です。

次に EpsonNet Config を起動します。
☞ 本書 28 ページ「EpsonNet Config の起動」

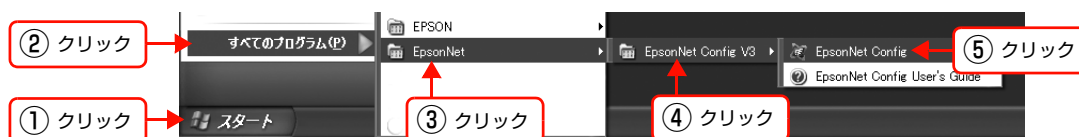
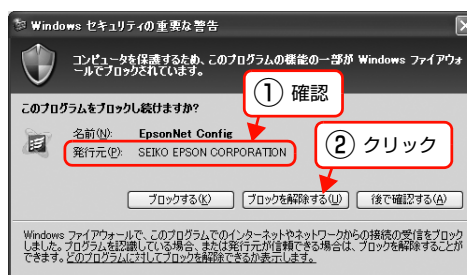
EpsonNet Configの起動

ソフトウェアを起動する前に、プリンタに用紙や同梱物（トナーまたはインクカートリッジなど）を取り付け、印刷可能な状態か確認してください。
☞ プリンタの取扱説明書

正常に動作することを確認したら、プリンタとEpsonNet Configをインストールしたコンピュータとハブを LAN ケーブルで接続して、プリンタの電源を入れます。
印刷可能な状態であることを確認してから、以下の手順でソフトウェアを起動してください。

Windows の場合

1 **[スタート]（または ）－[すべてのプログラム]（または[プログラム]）－[EpsonNet]－[EpsonNet Config V3] － [EpsonNet Config] の順にクリックして起動します。**

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので、[続行] または [はい] をクリック

参考 以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] をクリックしてください。[ブロックする] または [キャンセル] をクリックしたときは、EpsonNet Config を Windows ファイアウォールに登録してください。
また市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。
☞ 本書 57 ページ「困ったときは」

Mac OS X の場合

1 **[Macintosh HD] をダブルクリックした後、[アプリケーション] フォルダをダブルクリックします。**

[Macintosh HD] の名前を変更しているときは、Mac OS を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

Mac OS X v10.6.x：[移動] － [アプリケーション] をクリック

2 **[EpsonNet] フォルダをダブルクリックします。**

3 **[EpsonNet Config V3] フォルダをダブルクリックします。**

4 **[EpsonNet Config] をダブルクリックしてソフトウェアを起動します。**

以上で終了です。

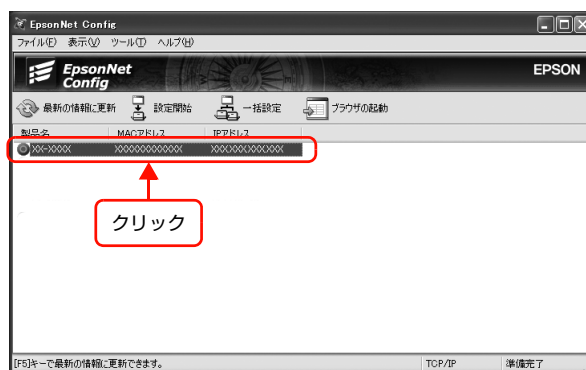
次に設定手順を説明します。
☞ 本書 29 ページ「設定方法」

設定方法

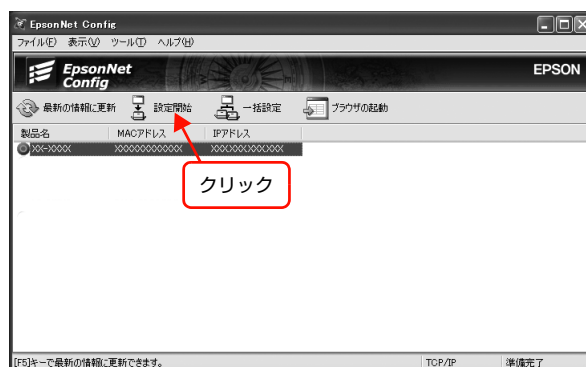
EpsonNet Config Ver.3 を使って、本製品を設定します。Windows の画面を例に説明します。Mac OS X での手順も同様です。

- EpsonNet Config で表示される画面や設定できる項目は、お使いの製品によって異なることがあります。
- 各設定画面とメニューバーの詳細説明は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
- 本製品を工場出荷時の状態に戻すときは、以下を参照してください。

☞ 本書 36 ページ「工場出荷時への戻し方」

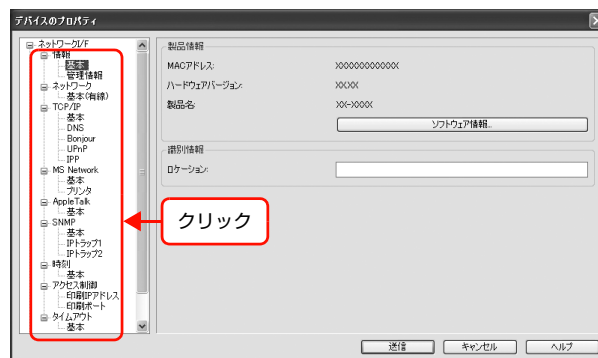
1 画面のリストから、本製品を装着したプリンタを選択します。

参考

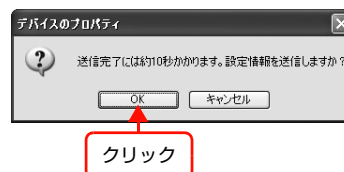
- 本製品の IP アドレスが工場出荷時（192.168.192.168）のままになっていると、製品名が表示されないことがあります。このようなときは、MAC アドレスで判別してください。また、本製品を装着したプリンタが複数台あるときも MAC アドレスで判断します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
  ネットワークステータスシートの出力方法は、以下を参照してください。
  ☞ 本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外に本製品を装着したプリンタがある場合は、[ツール] － [オプション] － [探索アドレス] でネットワークアドレスを指定すると表示されます。
- お使いの Mac OS が所属するゾーンの外に本製品を装着したプリンタがある場合は、[ツール] － [オプション] － [AppleTalk] でゾーンを指定すると表示されます。
- IP アドレスが工場出荷時以外に設定されている場合、[ブラウザの起動] をクリックすると、EpsonNet Config（Web）が起動します。
  ☞ 本書 81 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
- 複数選択して、まとめて設定することもできます。詳細はヘルプを参照してください。

2 [設定開始] をクリックします。

3 **［デバイスのプロパティ］画面が開いたら、画面左側の項目の中から、設定するプロトコルの項目をクリックします。**

［TCP/IP］ － ［基本］ と ［Bonjour］ の詳細は、以下のページを参照してください。

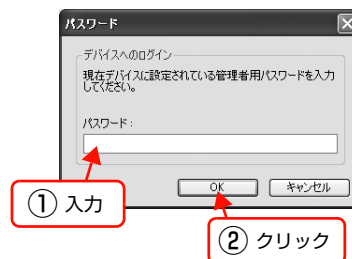
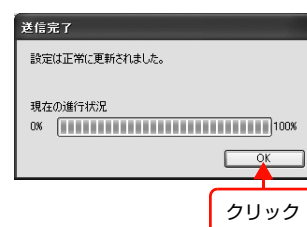
☞ 本書 34 ページ「［TCP/IP］ － ［基本］ 画面」
☞ 本書 35 ページ「［TCP/IP］ － ［Bonjour］ 画面」

それ以外の項目の詳細は、ヘルプで確認してください。

4 **各項目の設定が終了したら、［送信］ をクリックします。**

5 **表示された画面で ［OK］ をクリックします。**

6 **パスワード画面が表示されたら、パスワードを入力して ［OK］ をクリックします。**

パスワードを設定していない場合は、画面は表示されません。

パスワードの設定方法は以下を参照してください。

☞ 本書 32 ページ 「パスワードの設定 / 変更」

7 **「設定は正常に更新されました。」と表示されていることを確認して、［OK］ をクリックします。**

> **！重要** 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまでは本製品に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

8 **設定が有効になるまで最大３分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。３分ほどしたら、［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

以上で終了です。

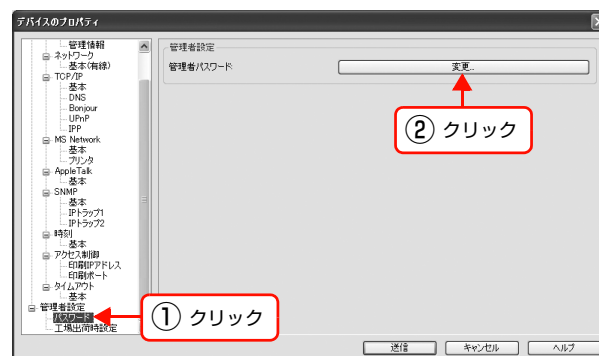
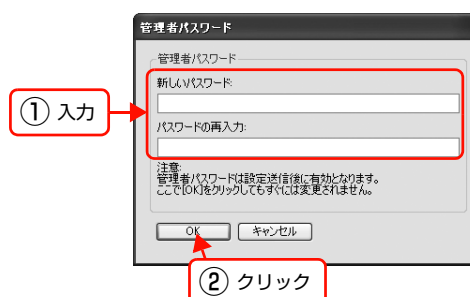
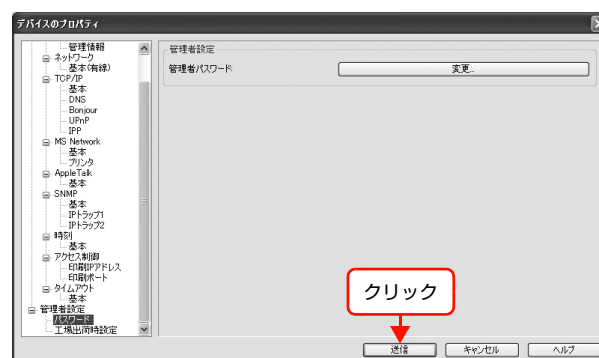
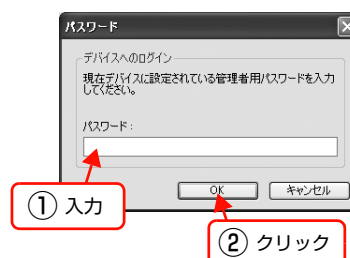
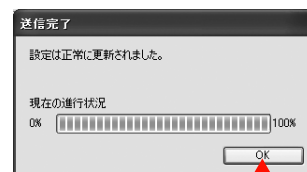
次に印刷をするコンピュータを設定します。
☞ 本書 38 ページ「印刷をするコンピュータの設定」

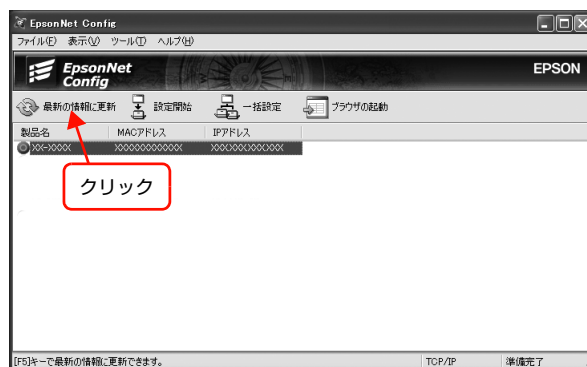
パスワードの設定 / 変更

パスワードは、本製品の設定を保護するためのものです。パスワードを設定した場合は、［デバイスのプロパティ］画面で［送信］をクリックしたり、［工場出荷時設定］画面で［実行］をクリックすると［パスワード］画面が表示されます。

- パスワードは、EpsonNet Config（Windows/Mac OS）と EpsonNet Config（Web）共通で使用します。パスワードの管理は十分注意してください。
- 設定したパスワードを忘れてしまったときは、本製品を工場出荷時の設定に戻してください。
☞ 本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

パスワードの新規設定 / 変更方法は以下の通りです。

1 **［管理者設定］—［パスワード］をクリックして、［変更］をクリックします。**

2 **新しいパスワードを半角英数20文字以内で入力して、［OK］をクリックします。**
大文字・小文字は区別されます。

3 **［送信］をクリックします。**

4 **パスワードを変更したときは、［パスワード］画面が表示されますので、現在のパスワードを入力して［OK］をクリックします。**
初めてパスワードを設定するときは、この手順はありません。

5 「設定は正常に更新されました。」と表示されていることを確認して、[OK]をクリックします。

!重要 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまでは本製品に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

6 設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[最新の情報に更新]をクリックしてください。

以上でパスワードの設定は終了です。

プロパティ画面の説明

ここでは［デバイスのプロパティ］画面の［TCP/IP］－［基本］画面と［Bonjour］画面を説明します。それ以外の項目の詳細は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。

☞ 本書 34 ページ「[TCP/IP] －［基本］画面」
☞ 本書 35 ページ「[TCP/IP] －［Bonjour］画面」

[TCP/IP] － [基本] 画面

IP アドレスに関する項目を設定します。

IP アドレスの設定方法

設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得するときに選択します。 プリンタの電源を入れるたびに本製品に割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定の詳細は各サーバの取扱説明書を参照してください。
手動	［IP アドレス設定］項目で IP アドレスを設定するときに選択します。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	チェックを付けると、DHCP サーバが存在しないときや応答がないときに、IP アドレスが APIPA（Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目は設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定するときにチェックを付けてください。

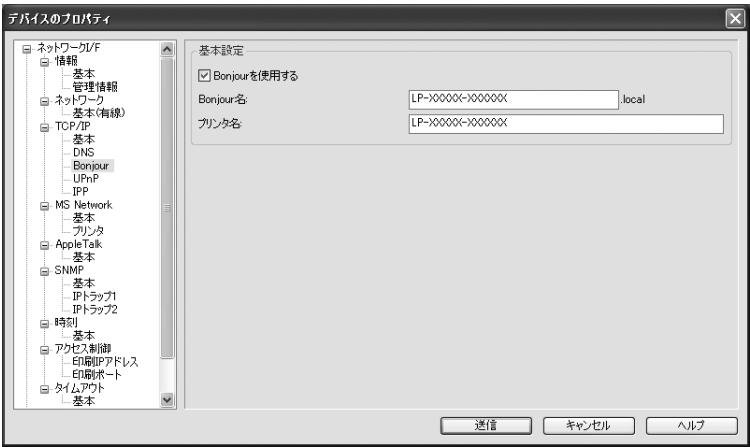
IP アドレス設定

設定項目	設定内容
IP アドレス	本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からないときは以下のページを参照してください。 ☞ 本書 57 ページ「困ったときは」 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル） ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用している IP アドレスと重複しないようにしてください。 工場出荷時は［192.168.192.168］ですが、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用可能となります。本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 工場出荷時は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがあるときは、サーバやルータの IP アドレスを入力します。

設定項目を変更したときは、画面右下の［送信］ボタンを押して設定情報を更新してください。

☞ 本書 29 ページ「設定方法」4 ～ 8

[TCP/IP]－[Bonjour]画面

Mac OS X で Rendezvous または Bonjour で印刷するときに設定します。

基本設定

設定項目	設定内容
Bonjour を使用する	Rendezvous または Bonjour を使用するときにチェックを付けます。
Bonjour 名	［Bonjour を使用する］にチェックを付けたときに有効になります。 Rendezvous または Bonjour 上で使用する名前を入力します。半角英数の 2 文字以上 53 文字以下で入力してください。
プリンタ名	プリンタの名前を入力します。半角英数の 1 文字以上 41 文字以下で入力してください。

設定項目を変更したときは、画面右下の［送信］ボタンを押して設定情報を更新してください。

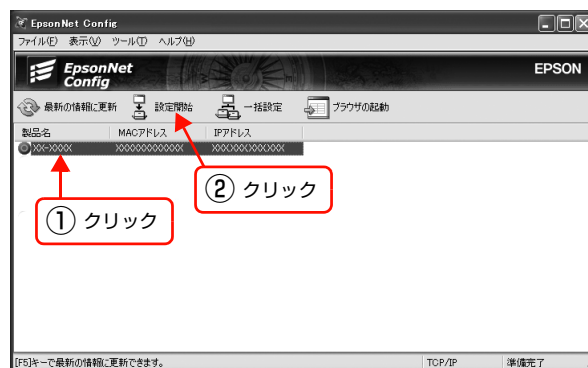
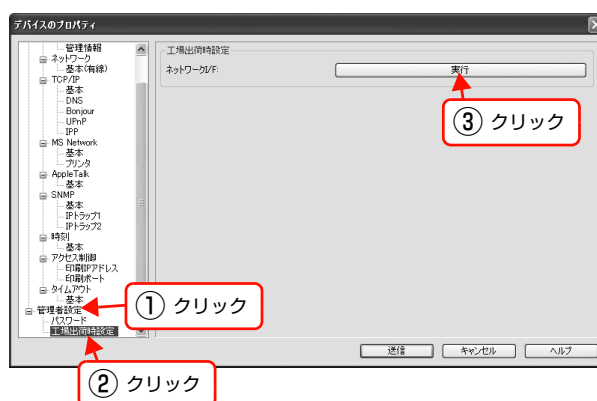
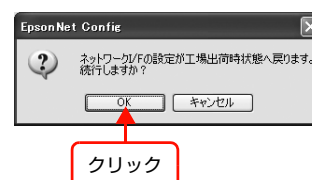
☞ 本書 29 ページ「設定方法」4 ～ 8

工場出荷時への戻し方

本製品に誤った設定をしたときは、以下の手順で工場出荷時の状態に戻してください。

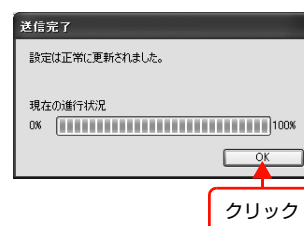
1 **EpsonNet Config を起動します。**

☞ 本書 28 ページ「EpsonNet Config の起動」

2 **画面のリストから、本製品を選択して、[設定開始] をクリックします。**

3 **[管理者設定] ― [工場出荷時設定] をクリックして、[実行] をクリックします。**

4 **表示された画面で [OK] をクリックします。**

5 **パスワード画面が表示されたら、パスワードを入力して [OK] をクリックします。**

パスワードを設定していない場合は、画面は表示されません。
パスワードの設定方法は以下を参照してください。

☞ 本書 32 ページ「パスワードの設定 / 変更」

6 **「設定は正常に更新されました。」と表示されていることを確認して、[OK] をクリックします。**

> **！重要** 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまでは本製品に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

7 設定が有効になるまで最大３分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。３分ほどしたら、［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。

以上で終了です。

本製品のボタンによる工場出荷時への戻し方は、以下を参照してください。
☞ 本書７ページ「①ステータスシートボタン」

4 印刷をするコンピュータの設定

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタドライバのインストールとプリンタポートの設定が必要です。
ここではインストールと設定の手順を OS 別に説明します。

Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows

ここでは、Windows NT4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7の設定手順を説明します。

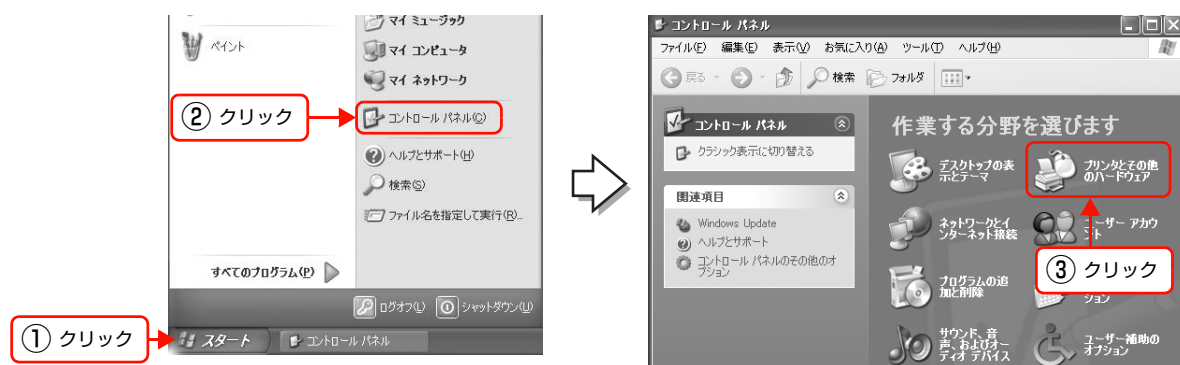
「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップをします。
各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 39 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷する」
☞ 本書 39 ページ「標準 TCP/IP（LPR）で印刷する」
☞ 本書 45 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」
☞ 本書 47 ページ「Microsoft ネットワークプリンタ共有で印刷する」

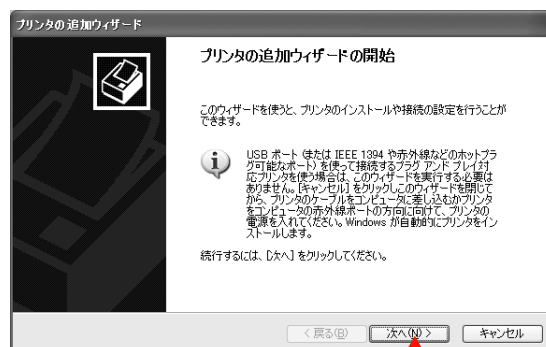
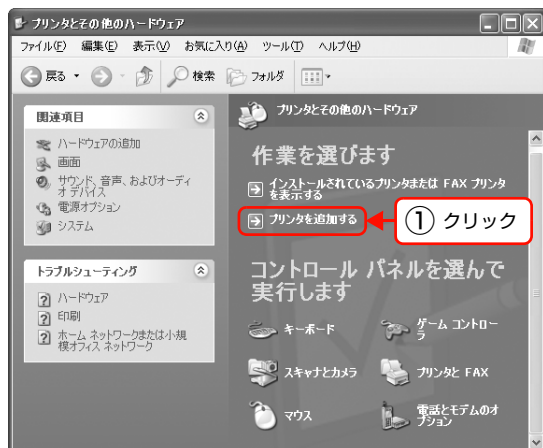
EpsonNet Print(LPR)で印刷する

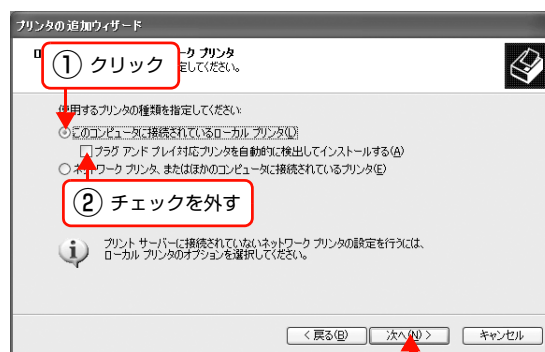
EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品を装着したプリンタに印刷データを直接送る設定をします。
EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタポートの設定やプリンタドライバのインストールをします。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 67 ページ「EpsonNet Print の使い方」

標準 TCP/IP(LPR)で印刷する

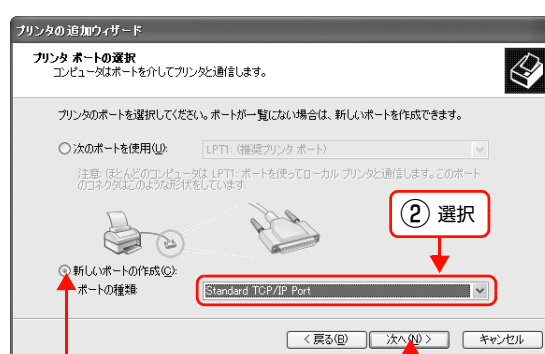
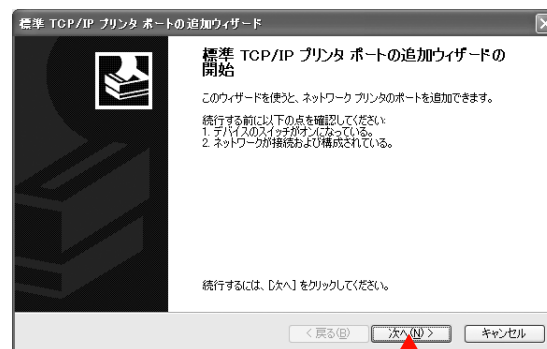
ここでは、標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003：［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック
Windows NT 4.0/Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista/Windows Server 2008：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック
Windows 7：［ ］－［デバイスとプリンター］の順にクリック

2 ［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008：［プリンタのインストール］をクリック
Windows 7：［プリンターの追加］をクリック

3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。

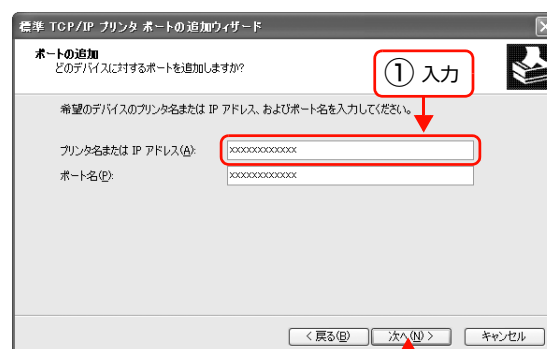
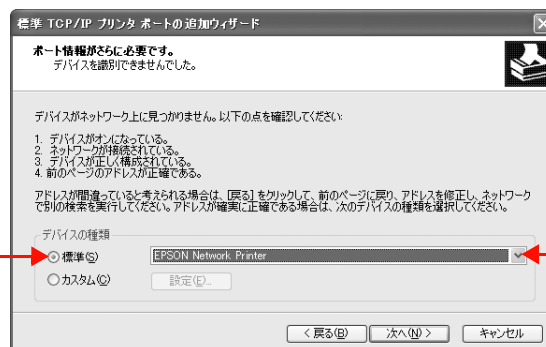
Windows NT 4.0：
［このコンピュータ］を選択して、［次へ］をクリック
Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択
［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［ローカルプリンターを追加します］をクリック

4 ［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

Windows NT 4.0：
［ポートの追加］をクリックして表示される画面で［LPT Port］を選択して、［新しいポート］をクリックしたら手順 6 に進む
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
手順 6 に進む

Windows NT 4.0 のときは、［Lexmark TCP/IP Network Port］を選択しないでください。

5 **[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード]が表示されたら、[次へ] をクリックします。**

6 **[プリンタ名または IP アドレス]項目に本製品の IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。**

[ポート名] は自動的に入力される文字列のままで、変更する必要はありません。

Windows NT 4.0：
[lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス] に本製品の IP アドレスを、[サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] にプリンタ名を入力して [OK] をクリック

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[ホスト名または IP アドレス] 項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックしたら手順 8 に進む

参考 何らかの理由で本製品を装着したプリンタが正しく検出できなかったときに以下の画面が表示されます。このようなときは、[標準] を選択し、[EPSON Network Printer] を選択します。

7 **[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。**

Windows NT 4.0：
[閉じる] をクリックして、[プリンタの追加ウィザード] 画面で [次へ] をクリック

8 ［ディスク使用］をクリックして、プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

9 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows NT 4.0	WINNT40
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	以下のいずれかのフォルダ • WIN2000 • WINXP_2K • WINVISTA_XP_2K • WINX86
64bit 対応版	以下のいずれかのフォルダ • WINXP64 • WINVISTA_XP64 • WINX64

プリンタのソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

本製品をページプリンタに装着している場合は、以上で終了です。

設定したコンピュータをプリントサーバ、プリンタを共有プリンタとして使用するときは、以下を参照してください。

☞ プリンタの取扱説明書

本製品を大判インクジェットプリンタに装着して Windows Vista/Windows 7 をお使いのときは、以下を参照して標準 TCP/IP ポートの設定を確認します。

☞ 本書 43 ページ「標準 TCP/IP ポートの確認（Windows Vista/Windows 7）」

標準 TCP/IP ポートの確認（Windows Vista/Windows 7）

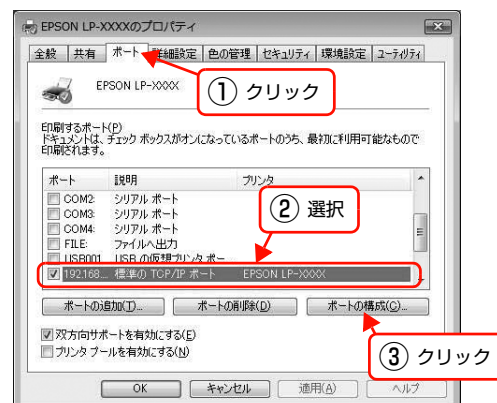
大判インクジェットプリンタで標準 TCP/IP ポートを使用してネットワーク印刷をするときは、以下の設定になっていることを確認してください。この設定がされていないと正しく印刷できないことがあります。

Windows Vista の手順で説明します。

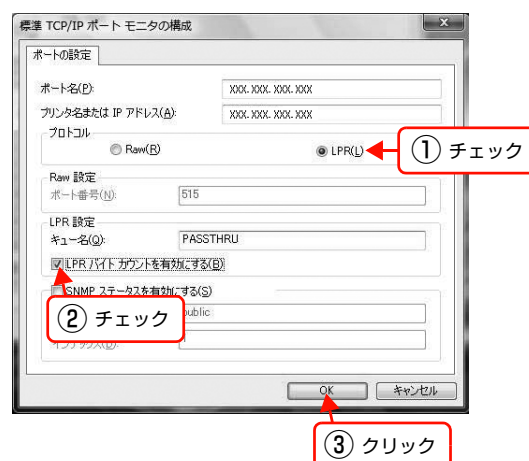
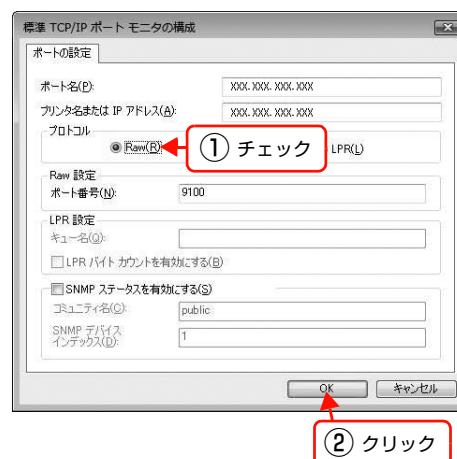
1 **［ ］ －［コントロールパネル］ －［プリンタ］の順にクリックします。**
Windows 7：［ ］ －［デバイスとプリンター］の順にクリック

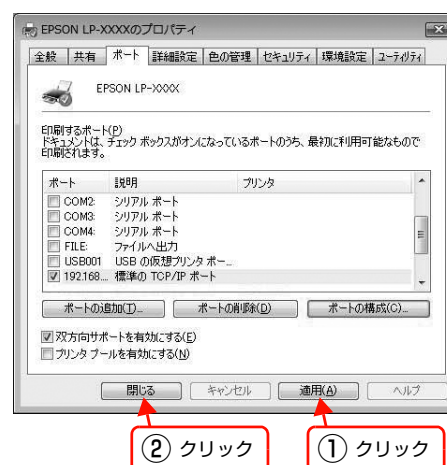
2 **対象プリンタのアイコンを右クリックして、［管理者として実行］ －［プロパティ］をクリックします。**
Windows 7：対象プリンタのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリック

参考　以下の画面が表示されたときは、［続行］または［はい］をクリックします。

3 **［ポート］タブをクリックして、使用する標準 TCP/IP ポートを選択してから［ポートの構成］をクリックします。**

4 ポートの構成を確認します。

右記どちらかの設定になっていることを確認します。

LPR 設定

Raw 設定

5 ［閉じる］をクリックします。

［適用］ボタンが選択可能になっているときは［適用］をクリック後、［閉じる］をクリックします。

以上で終了です。

設定したコンピュータをプリントサーバ、プリンタを共有プリンタとして使用するときは、以下を参照してください。

☞ プリンタの取扱説明書

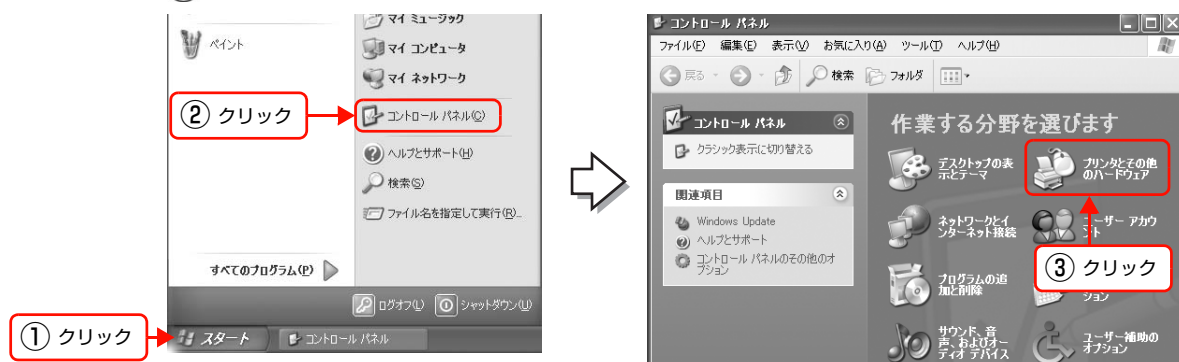
インターネット(IPP)で印刷する

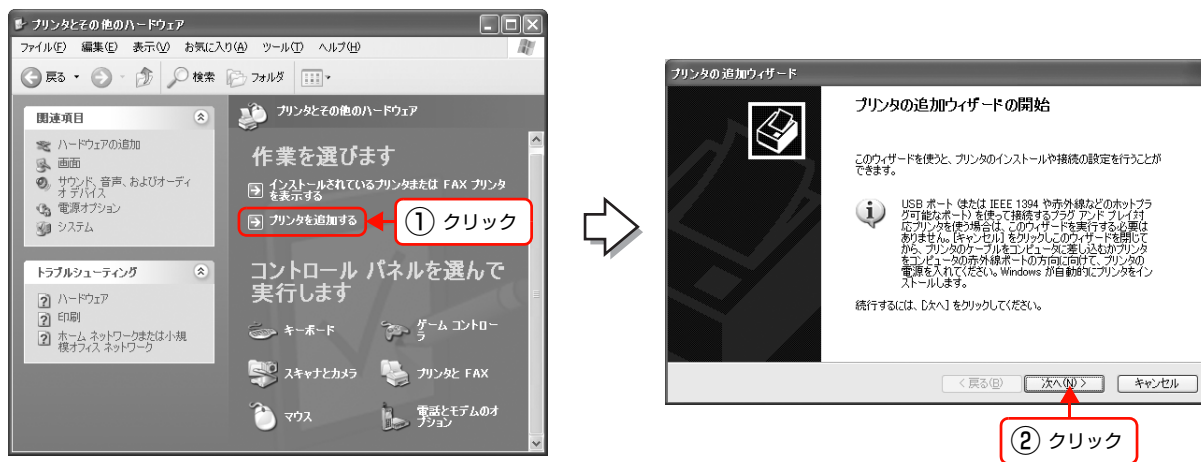
ここでは、インターネット印刷（IPP）の設定手順を説明します。

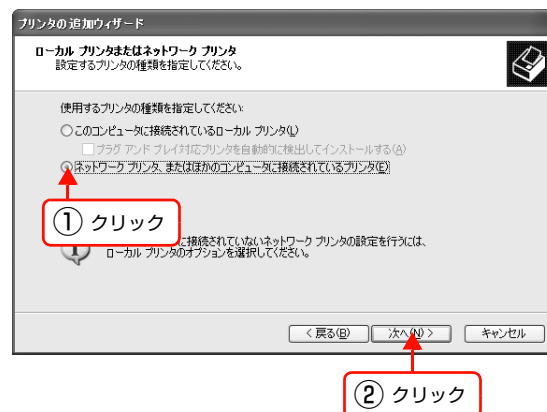
！重要

- Windows NT 4.0 でインターネット印刷（IPP）をするには、IPP 印刷ツール「EpsonNet Internet Print」が必要です。エプソンのホームページからツールと取扱説明書をダウンロードし、設定してください。
http://www.epson.jp/
- Windows Server 2008 は標準インストールのままでは使用できません。インターネット印刷の追加が必要です。

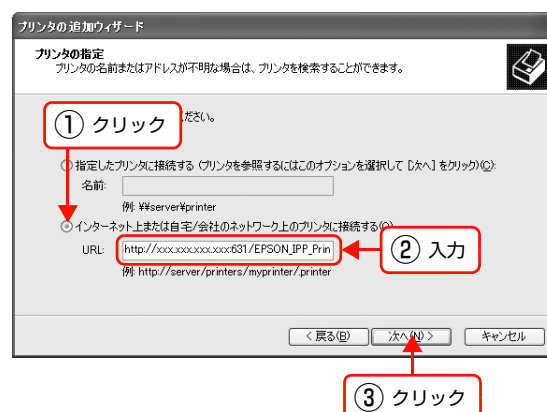
1 **［スタート］ －［コントロールパネル］ －［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003：［スタート］ －［プリンタと FAX］の順にクリック
Windows 2000：［スタート］ －［設定］ －［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ ］（または［スタート］）－［コントロールパネル］ －［プリンタ］の順にクリック
Windows 7：［ ］ －［デバイスとプリンター］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008：［プリンタのインストール］をクリック
Windows 7：［プリンターの追加］をクリック

3 **[ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。**

Windows 2000：
[ネットワークプリンタ] を選択して、[次へ] をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します] をクリック

4 **[インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択します。本製品の URL を以下の書式で入力して、[次へ] をクリックします。**

書式）http:// 本製品の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

上記の EPSON_IPP_Printer は工場出荷時の値です。本製品の設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
☞ 本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

Windows 2000：
[インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] を選択
本製品の URL を上記の書式で入力して、[次へ] をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[停止] － [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリック
[共有プリンターを名前で選択する] を選択
本製品の URL を上記の書式で入力して、[次へ] をクリック

5 **[ディスク使用] をクリックして、プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

6 **CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

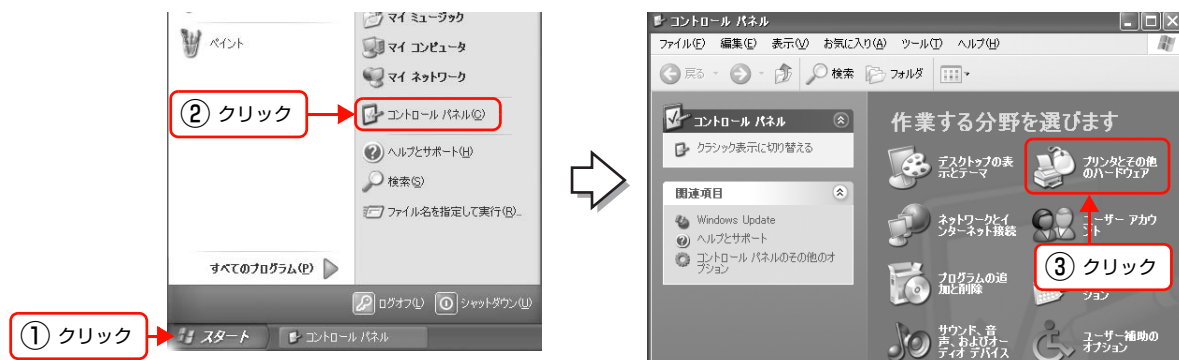
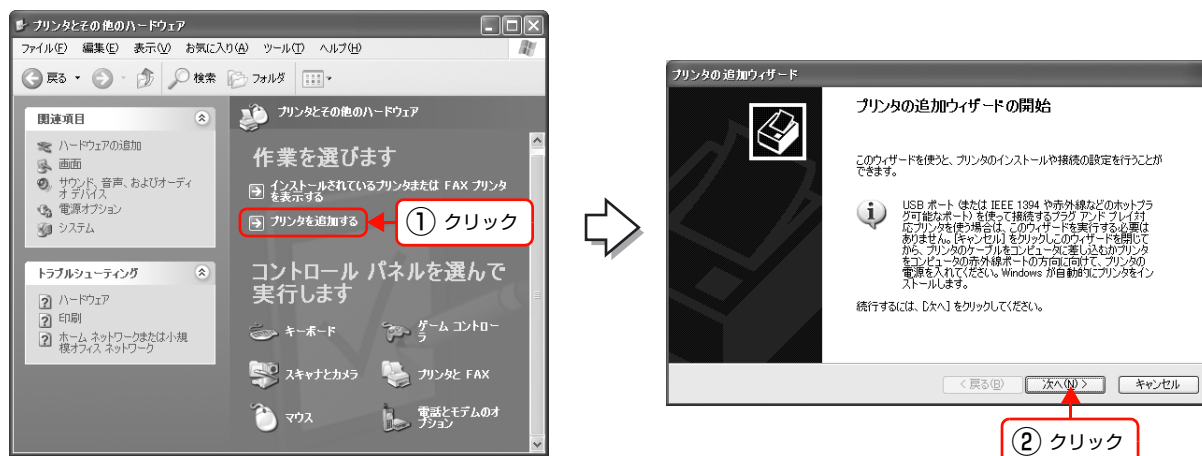
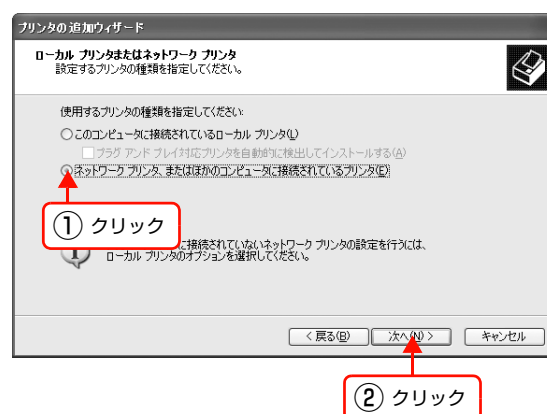
OS 環境	選択するフォルダ
Windows NT 4.0	WINNT40
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 8 Windows 7	以下のいずれかのフォルダ • WIN2000 • WINXP_2K • WINVISTA_XP_2K • WINX86
64bit 対応版	以下のいずれかのフォルダ • WINXP64 • WINVISTA_XP64 • WINX64

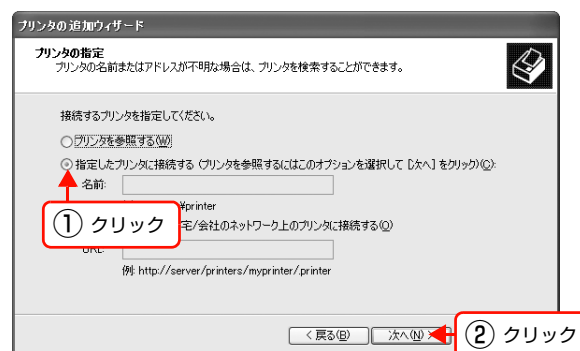
プリンタのソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Microsoft ネットワークプリンタ共有で印刷する

ここでは Microsoft ネットワークプリンタ共有での印刷設定手順を説明します。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003：［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック
Windows NT 4.0/Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。**
Windows 2000：
［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリック
Windows NT 4.0：
［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、［次へ］をクリックしたら手順 5 に進む

4 **［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択して、［次へ］をクリック

5 **表示されるリストから本製品を装着したプリンタを選択して、［次へ］をクリックします。**

Windows NT 4.0：
リストから本製品を装着したプリンタを選択して［OK］をクリック

参考　ネットワークプリンタはワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
参照できないときは、［プリンタ］欄に以下の通りに入力します。
￥￥（本製品のプリントサーバ名）￥（本製品の共有名）
これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

6 **［OK］をクリックします。**

7 **［ディスク使用］をクリックして、プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

8 **CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows NT 4.0	WINNT40
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	以下のいずれかのフォルダ • WIN2000 • WINXP_2K • WINVISTA_XP_2K • WINX86
64bit 対応版	以下のいずれかのフォルダ • WINXP64 • WINVISTA_XP64 • WINX64

プリンタのソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Windows 95/Windows 98/Windows Me

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップします。
各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。
☞ 本書 49 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷する」
☞ 本書 49 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」
☞ 本書 51 ページ「Microsoft ネットワーク共有（NetBEUI）で印刷する」

EpsonNet Print(LPR)で印刷する

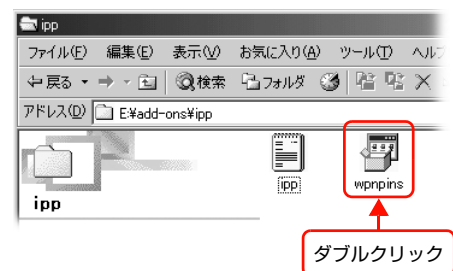
EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品に印刷データを直接送る設定をします。
EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタポートの設定やプリンタドライバのインストールをします。詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 67 ページ「EpsonNet Print の使い方」

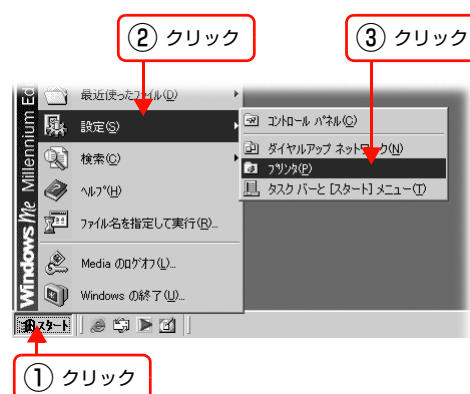
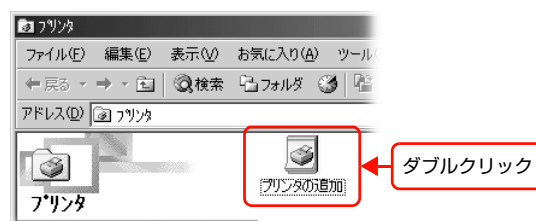
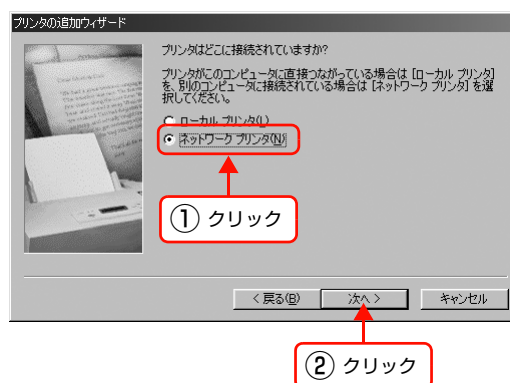
インターネット(IPP)で印刷する

> **!重要**
> Windows 95/Windows 98 でインターネット印刷（IPP）をするには、IPP 印刷ツール「EpsonNet Internet Print」が必要です。エプソンのホームページからツールと取扱説明書をダウンロードし、設定してください。
> http://www.epson.jp/

ここでは、Windows Me でインターネット（IPP）印刷をする手順を説明します。
IPP クライアントをインストールしたあとに、プリンタを設定します。

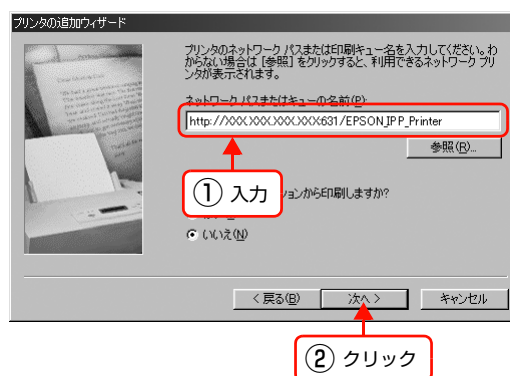
1 **コンピュータに、Windows Me の CD-ROM をセットします。**

2 **CD-ROM ドライブにある [add-ons] – [ipp] フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

次にプリンタを追加します。

3 **［スタート］–［設定］–［プリンタ］の順にクリックします。**

4 ［プリンタの追加］をダブルクリックして、プリンタの追加ウィザード画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

5 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

6 ［ネットワークパスまたはキューの名前］に以下の書式で入力して、［次へ］をクリックします。

書式）http:// 本製品の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

上記の EPSON_IPP_Printer は工場出荷時の値です。本製品の設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。

本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

7 ［ディスク使用］をクリックして、プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

8 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

入力例）E:¥Japanese¥WIN9X（E ドライブにセットしたとき）

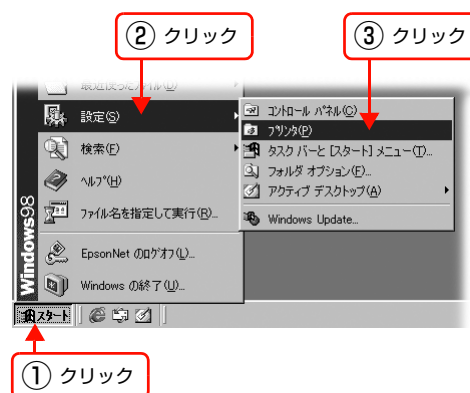
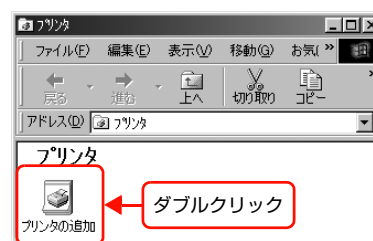
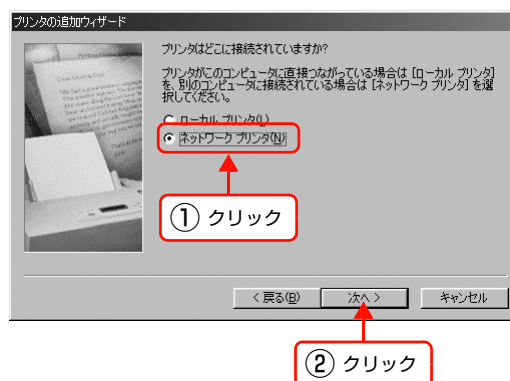
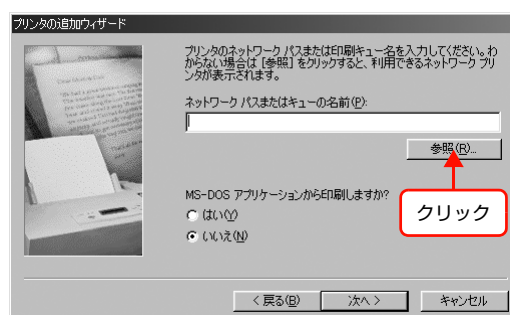
参考

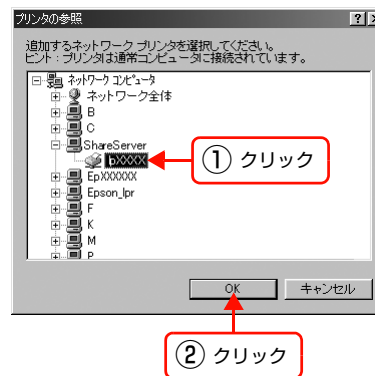
プリンタのソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Microsoft ネットワーク共有(NetBEUI)で印刷する

ここでは Microsoft ネットワーク共有（NetBEUI）での印刷設定手順を Windows 98 の画面で説明します。

1 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］をダブルクリックして、画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

4 ［参照］をクリックします。

5 表示されるリストから本製品を装着したプリンタを選択して、[OK] をクリックします。

ネットワークプリンタはワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
参照できないときは、[キャンセル] をクリックし、手順 4 の画面で以下の通りに入力します。
¥¥（本製品のプリントサーバ名）¥（本製品の共有名）
これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認できます。
本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

6 [プリンタの追加ウィザード] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

7 [ディスク使用] をクリックして、プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

8 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。
入力例）E:¥Japanese¥WIN9X（E ドライブにセットしたとき）

プリンタのソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Mac OS X

プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップします。印刷プロトコルは、EPSON AppleTalk（Mac OS X v10.5 以降エプソン製プリンタドライバは非対応）、EPSON TCP/IP、Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 ～ v10.3)、Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）の中から選択できます。

Mac OS X v10.2 ～ v10.4

1 **プリンタドライバがインストールされていることを確認します。**
インストールされていないときは、プリンタの取扱説明書を参照してプリンタドライバをインストールしてください。

2 **プリンタの電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。**

3 **［Macintosh HD］をダブルクリックします。**

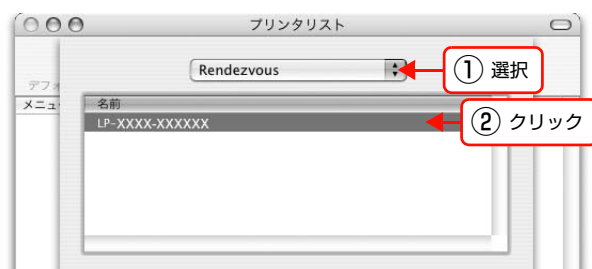
> 参考　［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

4 **［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

5 **［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。**
Mac OS X v10.2：
［プリントセンター］をダブルクリック

6 **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリックします。**

7 ［プリンタブラウザ］画面または［プリンタリスト］で本製品を装着したプリンタをクリックします。

Mac OS X v10.2-v10.3：［プリンタリスト］画面の一覧から、目的の印刷プロトコルを選択

Mac OS X v10.2-v10.3　　Mac OS X v10.4

使用プロトコル	選択する接続または項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP または TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk または AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous
Bonjour	Bonjour

- Mac OS X v10.4 で本製品を装着したプリンタが目的の接続方法で表示されていないときは、以下の操作をします。
  ①［ほかのプリンタ…］をクリックします。
  ②表示された画面で目的の接続を選択します。
  ③本製品を装着したプリンタを選択して、［追加］をクリックします。
- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］を有効にしてください。
  ☞ 本書 19 ページ「AppleTalk を設定する」
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータと本製品に IP アドレスなどの情報を設定してください。
  ☞ 本書 20 ページ「TCP/IP を設定する」
- ［Rendezvous］（Mac OS X v10.2.4 ～ v10.3）/［Bonjour］（Mac OS X v10.4 以降）での印刷は、本製品の Rendezvous/Bonjour 機能が有効になっており、コンピュータと本製品は DHCP や Zeroconf（APIPA）機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。
  ☞ 本書 29 ページ「設定方法」

8 ［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.2-v10.3

Mac OS X v10.4

以上で終了です。

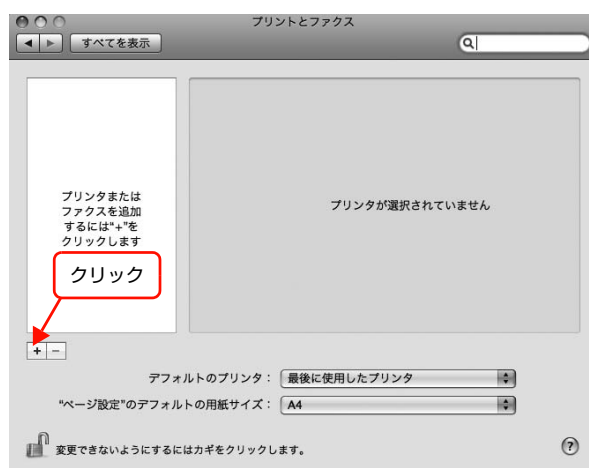
Mac OS X v10.5.x 以降

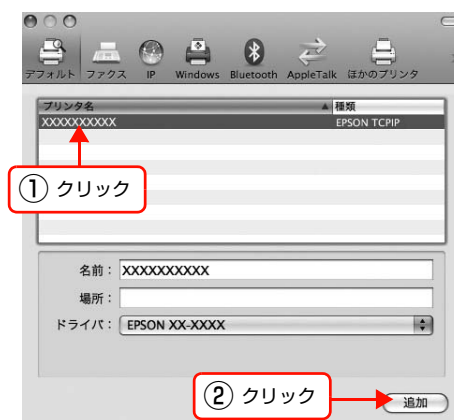
1 **プリンタドライバがインストールされていることを確認します。**
インストールされていないときは、プリンタの取扱説明書を参照してプリンタドライバをインストールしてください。

2 **プリンタの電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。**

3 **[アップル] メニュー－ [システム環境設定] の順にクリックします。**

4 **[プリントとファクス] をクリックします。**

5 **[+] をクリックします。**

6 **本製品をクリックして、[追加] をクリックします。**

本製品が表示されていないときは、以下の操作をしてください。
① [ほかのプリンタ] をクリックします。
② 表示された画面で [接続方法] を選択します。
③ 本製品を選択して、[追加] をクリックします。

以上で終了です。

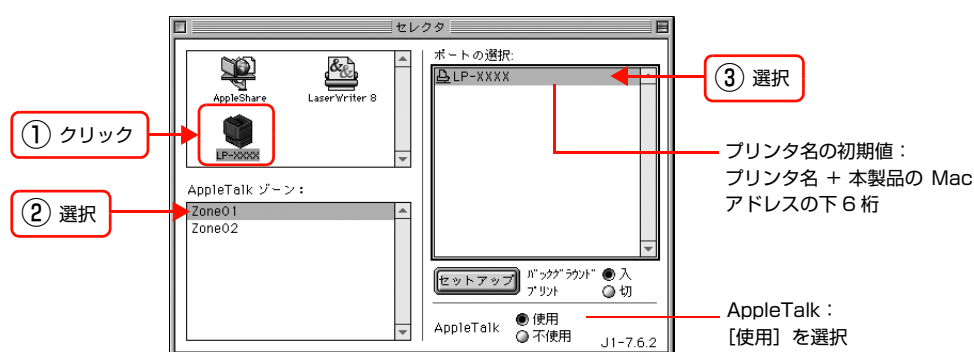
Mac OS 9

プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップします。

1 **プリンタドライバがインストールされていることを確認します。**
インストールされていないときは、プリンタの取扱説明書を参照してプリンタドライバをインストールしてください。

2 **プリンタの電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。**

3 **アップルメニューから［セレクタ］を選択します。**

4 **本製品を装着したプリンタをクリックして、［AppleTalk ゾーン］と［ポートの選択］を選択します。**
ネットワーク環境によっては、［AppleTalk ゾーン］は表示されません。

5 **選択が終了したら、画面左上のクローズボックスをクリックします。**

以上で終了です。

5 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

ネットワークステータスシートが印刷できますか？
本製品がきちんとプリンタに装着されていないと、ネットワークステータスシートが印刷できません。本製品の取り付け方法を確認してください。
☞ プリンタの取扱説明書

TCP/IP で使用するときは、コンピュータとプリンタが通信できていますか？
本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。
☞ 本書 89 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？
本製品を装着したプリンタの電源が入っていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下のことを確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。販売店またはエプソンの問い合わせ窓口にご相談ください。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？
工場出荷時［192.168.192.168］のままでは使用できません。この IP アドレスを使用するには、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力してください。本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

設定する IP アドレスがわからない

『セットアップガイド』（紙マニュアル）の「ネットワークの基礎知識」を参照してください。
ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

設定した IP アドレスが変わってしまう

本製品の［IP アドレスの設定方法］が［自動］になっていませんか？

［自動］にすると、プリンタの電源を入れるたびに IP アドレスが変わってしまいます。［自動］で利用するときは、プリンタの電源を入れる順番を決めるか、電源を常時入れておく必要があります。

☞ 本書 34 ページ「［TCP/IP］ － ［基本］画面」

ルータなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、プリンタの電源を入れるたびにコンピュータに設定したプリンタポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ（クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲）の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルータなど DHCP 機能を持つ機器の取扱説明書を参照してください。
- 本製品を装着したプリンタをダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンタポートの設定や EPSON TCP/IP、Bonjour/Rendezvous 印刷（Mac OS X で Bonjour/Rendezvous を使用のとき）では DHCP 機能が使用できます。

印刷に時間がかかる / データの末尾が欠ける

本製品と接続しているハブの通信モード（全二重 / 半二重）が合っていますか？

本製品の通信モード［Link Speed&Duplex］は工場出荷時［自動］になっています。ハブの通信モードが固定されていると本製品との通信モードに不整合が発生するため、印刷速度が異常に遅くなったり、タイムアウトによって末尾のデータが欠けたりします。ハブの通信モードを確認して、本製品の［ネットワーク］ － ［基本（有線）］で［Link Speed&Duplex］を変更してください。

☞ EpsonNet Config のヘルプ

Microsoft ネットワークプリンタ共有で印刷していませんか？

Microsoft ネットワークプリンタ共有で印刷すると、ネットワーク上のプリンタを検索するのに時間がかかるため、印刷が遅くなることがあります。コンピュータの「lmhosts」ファイルに本製品の IP アドレスを記載すると、プリンタの検索からデータを転送するまでの時間を短縮できます。lmhosts ファイルの設定方法の詳細はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）のサポート情報で、FAQ 番号［000563］を参照してください。

同梱のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config(Windows/Web)が起動または設定できない

ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか？

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、コンピュータでプロトコルやサービスの、追加または削除をすると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。コンピュータのプロトコルやサービスを追加または削除したときは、EpsonNet Config（Windows）を削除後、再インストールしてください。

☞ 本書 86 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」
☞ 本書 26 ページ「EpsonNet Config をインストールする」」

コンピュータにネットワーク設定をしていますか？

コンピュータにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバが応答していない

表示されたメッセージで［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定をしてください。

☞ 本書 11 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

本製品に IP アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config（Web）を起動するには、先に EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）で IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない

［Windows セキュリティの重要な警告］画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、［ブロックする］、［キャンセル］、［遮断する］を選択しましたか？

［ブロックする］、［キャンセル］、［遮断する］を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet EasyInstall（Windows）または EpsonNet Config（Windows）で製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

市販のセキュリティソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

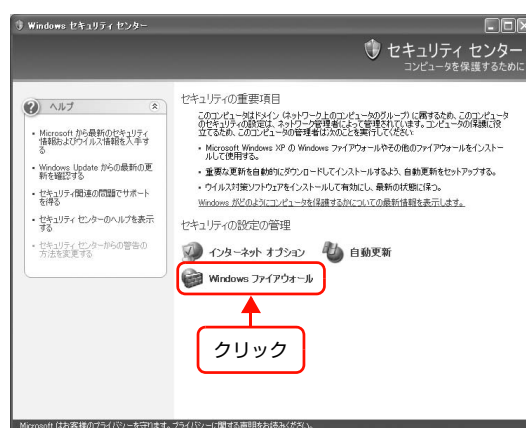
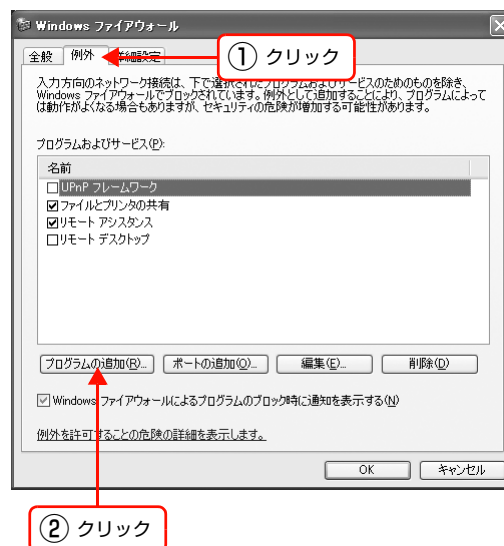
> **！重要**
> Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
> 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

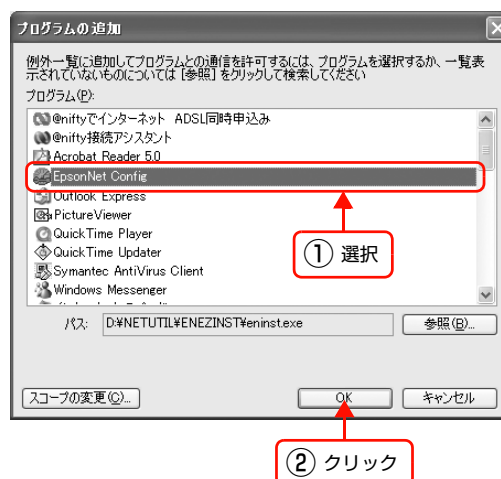
1 **［スタート］（または ◎ ）－［コントロールパネル］の順にクリックします。**

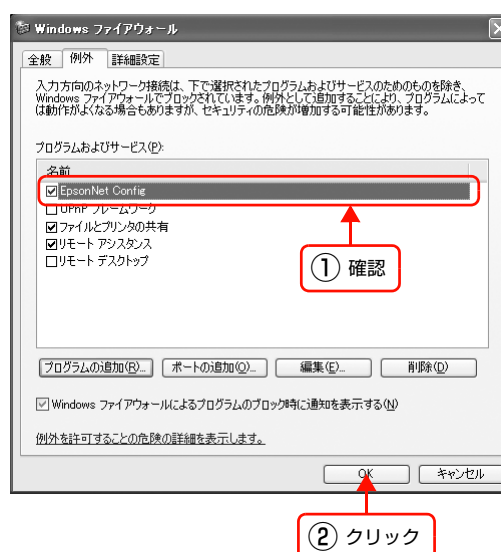
2 ［セキュリティセンター］をクリックします。

Windows Vista：
① ［Windows　ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリック
② ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリック
③ 手順 4 に進む
Windows Server 2008：
手順 3 に進む
Windows 7：
［システムとセキュリティ］をクリック

3 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。

Windows Server 2008：
［Windows ファイアウォール］－［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリック
Windows 7：
［Windows ファイアウォール］－［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックして手順 5 に進む

4 ［例外］タブをクリックして、［プログラムの追加］をクリックします。

5 **[EpsonNet Config]を選択して[OK]をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、本製品のソフトウェア CD-ROM 内の[EpsonNetEasyInstall.exe]を選択してください。ソフトウェア CD-ROM を参照するには、CD-ROM をコンピュータにセットして[参照]をクリックしてください。
Windows 7：
[設定の変更]をクリックし、[EpsonNet Config]の[ホーム / 社内（プライベート）]にチェックを付ける

6 **[EpsonNet Config]が[プログラムおよびサービス]に登録され、チェックが付いていることを確認したら、[OK]をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、[EpsonNetEasyInstall.exe]が[プログラムおよびサービス]に登録され、チェックが付いていることを確認してから[OK]をクリックしてください。
Windows 7：
[EpsonNet Config]の[ホーム / 社内（プライベート）]、[パブリック]にチェックが付いていることを確認したら[OK]をクリック

以上で終了です。

IP アドレスを工場出荷時から変更していますか？

本製品の IP アドレスが工場出荷時のままだと、[モデル名]と[IP アドレス]が表示されないことがあります。[モデル名]と[IP アドレス]が表示されなくても本製品の設定はできますが、この場合は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの[MAC Address]欄で確認できます。本製品を設定すると、正しく表示されるようになります。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

[通信エラーとする時間]を変更してみてください。

EpsonNet Config の[ツール]－[オプション]－[タイムアウト]で、[通信エラーとする時間]を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。
☞ 本書 29 ページ「設定方法」

EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される

インターネットへの接続設定がダイヤルアップ接続になっていませんか？

メッセージ画面でキャンセルを選択するとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Mac OS に関するトラブル

プリンタの追加で本製品を装着したプリンタが表示されない(Mac OS X)

プリンタドライバをインストールしていますか?
プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

コンピュータにネットワーク設定をしていますか?
各プロトコルによって、設定が異なります。以下の設定になっているか確認してください。

- EPSON AppleTalk の場合
  [システム環境設定] の [ネットワーク] 画面で [表示:] の中から [内蔵 Ethernet] を選択して、[AppleTalk] タブで、[AppleTalk 使用] にチェックが付いているか
  ☞ 本書 19 ページ「AppleTalk を設定する」
- EPSON TCP/IP の場合
  [システム環境設定] の [ネットワーク] − [TCP/IP] タブで、各種アドレスが設定されているか本製品に工場出荷時以外の正しい IP アドレスが設定されているか
  ☞ 本書 20 ページ「TCP/IP を設定する」
- Rendezvous(Mac OS X v10.2.4 〜 v10.3)および Bonjour(Mac OS X v10.4 以降)の場合
  EpsonNet Config [デバイスのプロパティ] 画面の [TCP/IP] − [Bonjour] で [Bonjour を使用する] にチェックが付いているか
  ☞ 本書 29 ページ「設定方法」

セレクタに本製品を装着したプリンタが表示されない(Mac OS 9)

コンピュータにネットワーク設定をしていますか?
Mac OS 9 で以下を設定しているか確認してください。

- コントロールパネルの [AppleTalk] で [Ethernet] が選択されているか
- セレクタで AppleTalk が [使用] になっているか

☞ 本書 22 ページ「AppleTalk を設定する」

Bonjour/Rendezvous で印刷できない

大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか?
Bonjour/Rendezvous では、大きなデータや用紙を印刷するときに、多くの HDD の空き容量を必要とすることがあります。EPSON TCP/IP 印刷は、Bonjour/Rendezvous に比べて同等かあるいはより少ない HDD の空き容量で印刷が可能です(必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します)。

6 その他の便利な機能の紹介

ここでは、本製品のソフトウェア CD-ROM に収録の各ソフトウェアの詳細や、エプソンのネットワークソフトウェアを説明します。

関連ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。

各ソフトウェアは、本製品に同梱されている PRIFNW7 ソフトウェア CD-ROM からインストールまたはダウンロードできます。CD-ROM の［ネットワークソフトウェアのインストールをする］を選択して、入手したいソフトウェアを選択してください。

最新のソフトウェアおよびサポート OS に関する情報はエプソンのホームページでご確認ください。

アドレス：http://www.epson.jp/

設定ユーティリティ

本製品の設定を、コンピュータから行うときに使用するソフトウェアです。

● EpsonNet Config

本製品の各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。

☞ 本書 26 ページ「EpsonNet Config で設定する」

● EpsonNet Config（Web）

本製品に内蔵されているソフトウェアです。

ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。本製品の設定（TCP/IP、MS Network、AppleTalk など）ができます。

EpsonNet Config（Web）は、本製品およびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定するときは EpsonNet Config（Windows/Mac OS）をお使いください。

☞ 本書 81 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

● Epson Firmware Updater

プリンタやネットワークインターフェイスカードのファームウェアをアップデートする際に使用するソフトウェアです。

ファームウェアの最新版はエプソンのホームページからダウンロードしてください。

アドレス：http://www.epson.jp/

● EpsonNet Internet Print（Windows のみ）

Windows 95/Windows 98/Windows NT 4.0 からネットワークプリンタにインターネット印刷ができるソフトウェアです。TCP/IP プロトコルを使用します。インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷するときに有効です。

Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista では、OS 標準の IPP ポートモニタを使用してください。

● EpsonNet InstallManager（Windows のみ）

ネットワークプリンタのドライバインストールからプリンタポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。

管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、作成したインストールパッケージをクライアント側のコンピュータで実行するだけでクライアントの印刷環境が作成されます。そのため、管理者がしているプリンタドライバ配布やインストール作業を大幅に軽減します。またプリンタドライバだけでなく、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 なども同時にパッケージ化できます。

印刷ユーティリティ（Windows のみ）

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。

● EpsonNet Print

Windows 95 以降のコンピュータで TCP/IP の直接印刷ができます。

- スプーラ画面にプリンタのステータスを表示できます。
- Ver.2.0 以降では IP アドレスを自動追従するため、本製品のアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンタポートの設定変更が不要です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選べます。
  本書 67 ページ「EpsonNet Print の使い方」

IP アドレスを自動追従させるには、本製品の IP アドレス設定を［自動］または［Auto］に設定してください。

● EpsonNet ClusterPrint

本製品を装着したプリンタを利用して分散印刷を実現するソフトウェアです。

印刷時に指定した部数を複数台のプリンタを使って出力する部数分散印刷機能が使用できます。

詳細は本製品に付属の『EpsonNet ClusterPrint 導入ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

EpsonNet Printの使い方

EpsonNet Print は、ネットワークに接続したエプソン製プリンタに Windows から TCP/IP 直接印刷をするためのソフトウェアです。

Windows 95/Windows 98/Windows Me以外のWindowsは、本ソフトウェアをインストールしなくてもWindows標準 LPR を使用して TCP/IP 直接印刷ができます。ただし、IP アドレスの自動追従やステータスの表示など、本ソフトウェア固有の機能は使用できません。

動作環境

EpsonNet Print は以下の環境で動作します。

OS	• Windows 95 • Windows 98 • Windows Me • Windows NT 4.0（Service Pack 6 以降） • Windows 2000（Service Pack 4 以降） • Windows XP（Service Pack 3 以降） • Windows Server 2003（Service Pack 2 以降） • Windows Vista（Service Pack 2 以降） • Windows Server 2008（Service Pack 2 以降） • Windows Server 2008 R2 • Windows 7
表示	解像度：800 × 600 ドット以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量

セットアップの流れ

本ソフトウェアを使用するための手順を説明します。

1　EpsonNet Print のインストール　本書 68 ページ「EpsonNet Print のインストール」

本ソフトウェアを使用するコンピュータにインストールします。

2　コンピュータの設定

Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の場合

本書 69 ページ「Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外でセットアップする」

本ソフトウェアのプリンタポート「EpsonNet Print Port」を作成してから、プリンタドライバをインストールします。

①プリンタポートの作成
②プリンタドライバのインストール

Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合

本書 73 ページ「Windows 95/Windows 98/Windows Me でセットアップする」

プリンタドライバを任意のポートを選択してインストールします。その後プリンタのプロパティを開いて、プリンタポートを本ソフトウェアで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。

①プリンタドライバのインストール
②プリンタポートの作成と設定変更

セットアップ中の製品探索方法の変更や、印刷データの送信方法を変更するときは、以下を参照してください。

本書 77 ページ「その他の機能」

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 98 など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。
Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。
Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合は、本製品を装着したプリンタを使用するすべてのコンピュータ（Windows 95/Windows 98/Windows Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。

インストールしたソフトウェアの削除方法は、以下を参照してください。
☞ 本書 86 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」

！重要

本ソフトウェアは、旧印刷用ソフトウェアの EpsonNet Direct Print Version1.0 または Version2.X と同じコンピュータにインストールできません。
EpsonNet Direct Print Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Direct Print を削除してから本ソフトウェアをインストールしてください。EpsonNet Direct Print Version2.X をお使いの場合は、本ソフトウェアのインストール中に警告メッセージを表示しますので、画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version2.X を削除してください。

1 **コンピュータに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［自動再生］画面で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリック

2 **画面の内容を確認して、［次へ］をクリックします。**
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］または [はい] をクリックしてから、［次へ］をクリック

3 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］をクリックします。**

4 **［ネットワークソフトウェアのインストールをする］をクリックします。**

5 **［EpsonNet Print（直接印刷ツール）のインストール］をクリックします。**

6 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

以上で EpsonNet Print のインストールは終了です。

次に、コンピュータの設定をします。
☞ 本書 69 ページ「Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外でセットアップする」
☞ 本書 73 ページ「Windows 95/Windows 98/Windows Me でセットアップする」

Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外でセットアップする

ここでは Windows NT4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 にセットアップする方法を説明します。

セットアップを始める前に、コンピュータに IP アドレスが設定されていることを確認してください。

本書 11 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、以下を参照してください。

本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

プリンタポートの作成

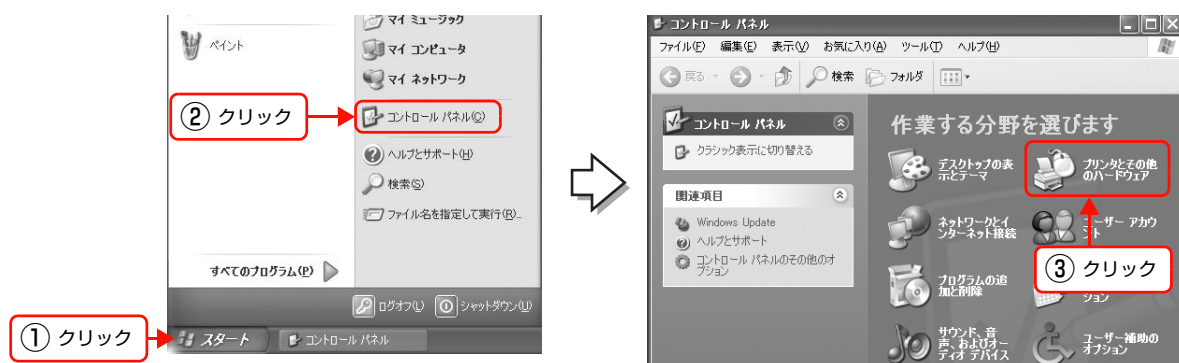
プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面で説明します。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003：［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

Windows NT 4.0/Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows 7：［ ］－［デバイスとプリンター］の順にクリック

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000/Windows Server 2003/Windows Server 2008：

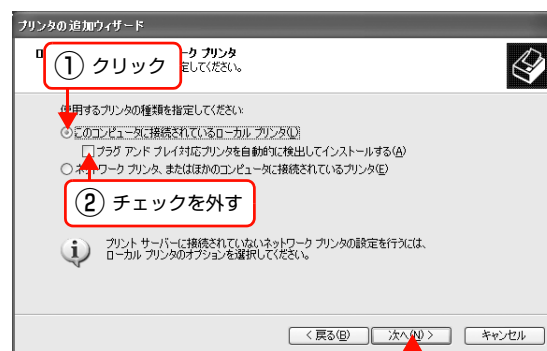
［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック

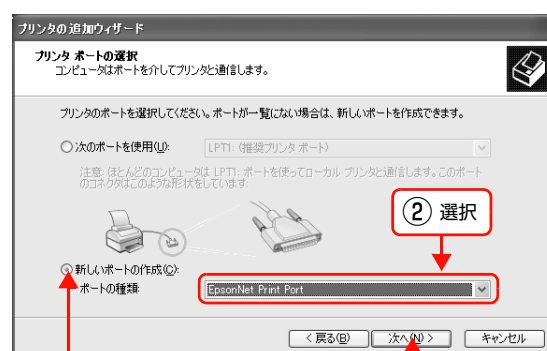
Windows NT 4.0：［プリンタの追加］をダブルクリック

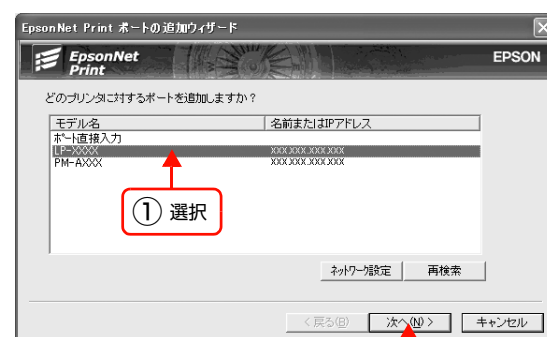
Windows Vista：［プリンタのインストール］をクリック

Windows 7：［プリンターの追加］をクリック

3 **[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックします。**

Windows NT 4.0：
[このコンピュータ]を選択して、[次へ]をクリック
Windows 2000：
[ローカルプリンタ]を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、[次へ]をクリック
Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[ローカルプリンターを追加します]をクリック

4 **[新しいポートの作成]を選択します。[EpsonNet Print Port]を選択して、[次へ]をクリックします。**

お使いのWindowsによっては[Windowsセキュリティの重要な警告]画面が表示されます。[ブロックを解除する]または[アクセスを許可する]をクリックしてください。
Windows NT 4.0：
[ポートの追加]をクリックして表示される[プリンタポート]画面で[EpsonNet Print Port]を選択して、[新しいポート]をクリック

5 **本製品を選択して、[次へ]をクリックします。**

本製品が表示されないときは、プリンタの電源が入っているか確認して[再検索]をクリックするか、[ポート直接入力]をクリックしてアドレスを指定してください。

- [ポート直接入力]の詳細は、以下を参照してください。
  本書 78 ページ「アドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定するときは、[ネットワーク設定]をクリックして設定します。
  本書 77 ページ「探索方法を変更する」
- [ネットワーク設定]をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンタの電源を入れたときは、[再検索]をクリックしてください。
- 手順 4 で表示された[Windowsセキュリティの重要な警告]画面で[ブロックする]または[キャンセル]を選択したときは、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示するときは、[コントロールパネル]の[Windowsファイアウォール]で設定を変更してください。

6 **画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。**

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

Windows NT 4.0 の場合は、以下の手順でプリンタポートの設定を続けます。
① [プリンタポート] 画面で、[閉じる] をクリック
② [プリンタの追加ウィザード] 画面の「利用可能なポート」で、選択した [EpsonNet Print Port] にチェックが付いていることを確認して、[次へ] をクリック

項目名	内容
[ポートタイプ選択]	作成するポートのタイプを選択できます。本製品の設定に応じて、以下の項目が選択できます。
IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが同一セグメント内にあり、本製品の [IP アドレスの設定方法] が [自動] のときに選択することをお勧めします。 本製品の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
IP アドレス（固定）	本製品が固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
DNS 登録名	DNS サーバに本製品のホスト名を登録しているときに選択できます。
MS Network	Microsoft ネットワーク共有（Net BEUI）で使用しているときに選択できます。
ポート名	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）] ：ホスト名：本製品名（EPXXXXXX）：プリンタ名 [IP アドレス（固定）] ：IP アドレス：プリンタ名 [DNS 登録名] ：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 [MS Network] ：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名	プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス	[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）] ：EP+MAC アドレス [IP アドレス（固定）] ：IP アドレス [DNS 登録名] ：ホスト名（DNS 登録済み） [MS Network] ：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル	使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

プリンタドライバのインストール

1 プリンタのソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 画面が表示されたら、[インストール中止] をクリックして画面を閉じてください。

3 [プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面で [ディスク使用] をクリックします。

4 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows NT 4.0	WINNT40
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	以下のいずれかのフォルダ • WIN2000 • WINXP_2K • WINVISTA_XP_2K • WINX86
64bit 対応版	以下のいずれかのフォルダ • WINXP64 • WINVISTA_XP64 • WINX64

- プリンタのソフトウェアCD-ROMによっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。
- このセットアップ方法では、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされません。インストールするときは、プリンタの取扱説明書を参照してください。

以上で終了です。

EpsonNet Print のその他の詳しい設定をするときは、以下のページに進んでください。

☞ 本書 79 ページ「印刷方式を変更する」

Windows 95/Windows 98/Windows Me でセットアップする

セットアップを始める前に、コンピュータに IP アドレスが設定されていることを確認してください。
☞ 本書 11 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、以下を参照してください。
☞ 本書 7 ページ「①ステータスシートボタン」

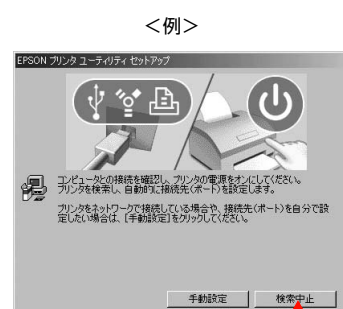
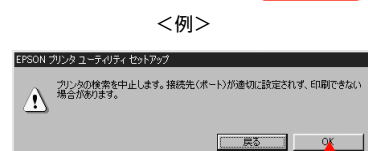
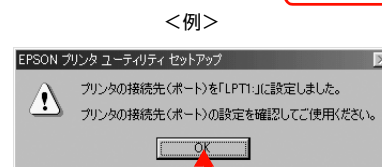
プリンタドライバをインストールした後、EpsonNet Print Port を作成します。Windows 98 の画面で説明します。

プリンタドライバのインストール

1 **コンピュータにプリンタのソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2 **表示される画面の指示に従ってプリンタドライバをインストールします。**
プリンタドライバのインストール方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。

3 **右のような画面が表示されたときは、［検索中止］または［キャンセル］をクリックしてください。**
EpsonNet Print を使用するときは、プリンタポートの設定を手動で行うため、設定は不要です。

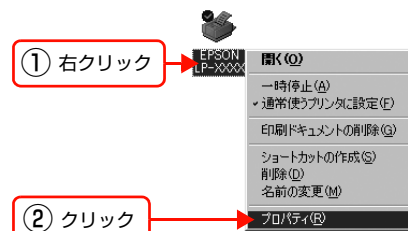
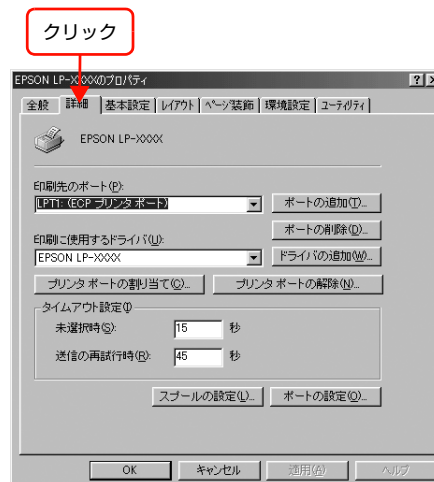
［検索中止］または［キャンセル］をクリックすると、右のような画面が表示されることがあります。［OK］をクリックしてください。

4 **［終了］をクリックします。**

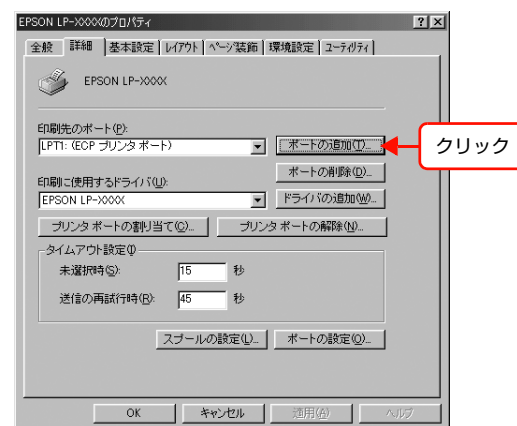
次にプリンタポートの設定を変更します。

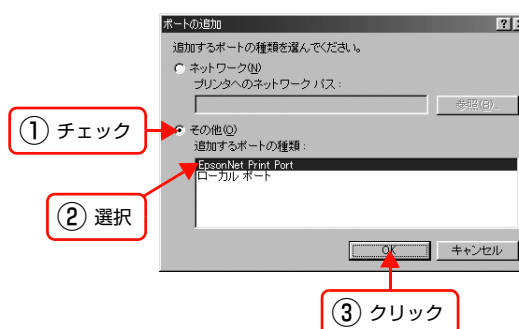
> **！重要** プリンタドライバをインストールしただけでは、EpsonNet Print を使用した印刷はできません。必ずプリンタポートを設定してください。

プリンタポートの作成と設定変更

1 ［スタート］ − ［設定］ − ［プリンタ］の順にクリックします。

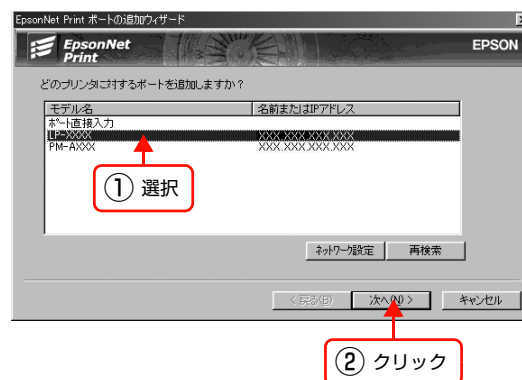
2 インストールされたプリンタドライバを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］をクリックします。

［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］にチェックを付け、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］をクリックします。

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 プリンタ名を選択して、[次へ] をクリックします。

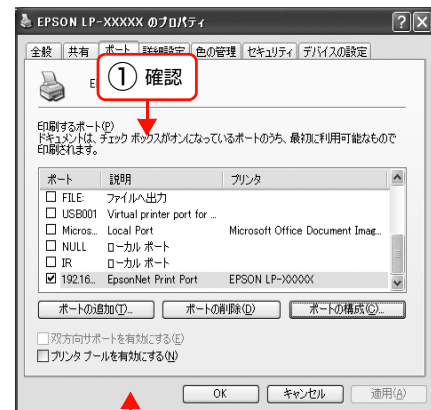
目的のプリンタ名が表示されないときはプリンタの電源が入っているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

参考

- ［ポート直接入力］の詳細は、以下を参照してください。
  本書 78 ページ「アドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定するときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  本書 77 ページ「探索方法を変更する」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンタの電源を入れたときは、［再検索］をクリックしてください。

7 画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

［ポートタイプ選択］でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

項目名		内容
［ポートタイプ選択］		作成するポートのタイプを選択できます。本製品の設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが同一セグメント内にあるときに選択できます。本製品の［IP アドレスの設定方法］が［自動］のときに選択することをお勧めします。 本製品の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	本製品が固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
	DNS 登録名	DNS サーバに本製品のホスト名を登録しているときに選択できます。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有（Net BEUI）で使用しているときに選択できます。
ポート名		［ポートタイプ選択］で選択した項目によって以下のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：ホスト名：本製品名（EPXXXXXX）：プリンタ名 ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス：プリンタ名 ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：EP+MAC アドレス ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み） ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

8 **プリンタポートを確認して、[OK] をクリックします。**

以上で終了です。

EpsonNet Print のその他の詳しい設定をするときは、以下のページに進んでください。
☞ 本書 79 ページ「印刷方式を変更する」

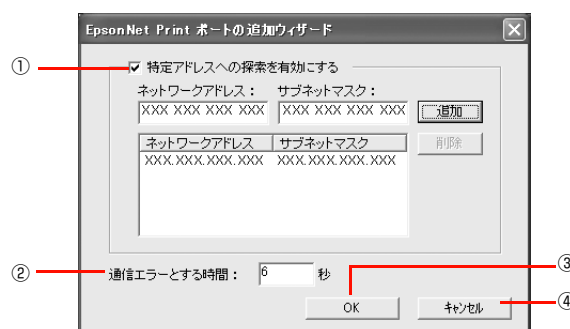
その他の機能

探索方法の詳細設定や印刷データの送信方法などを設定できます。

探索方法を変更する

画面の表示方法

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］の［ネットワーク設定］をクリックすると表示されます。

項目の説明

	項目名		内容
①	特定のアドレスへの探索を有効にする		チェックを付けると指定したセグメント内のエプソン製プリンタを探索できます。［ネットワークアドレス］と［サブネットマスク］を入力して、［追加］をクリックします。
		ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
		［追加］	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
		［削除］	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間		エプソン製プリンタに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がないときはエラーになります。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

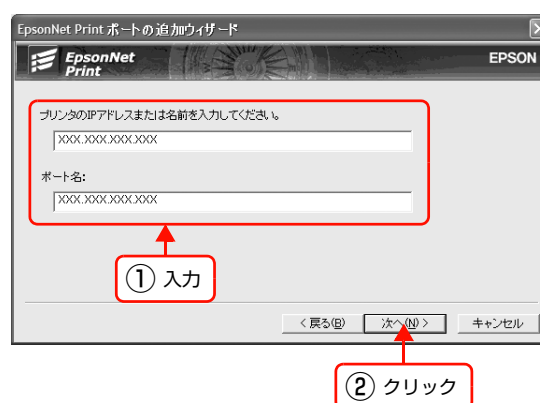
EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されないことがあります。このようなときはプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。
☞ 本書 78 ページ「アドレスを直接指定する」

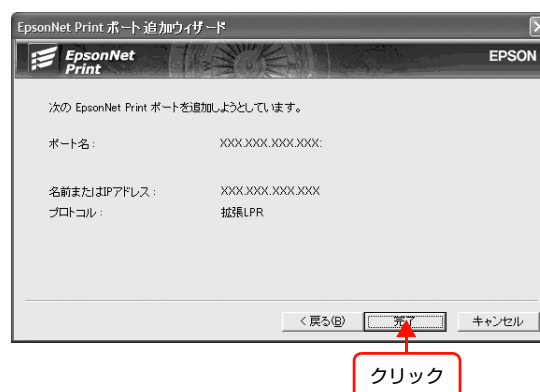
アドレスを直接指定する

本製品に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも本製品を装着したプリンタが表示されない場合は、[ポート直接入力] を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

！重要　アドレスを自動取得しているときは、この機能を使用しないでください。

1 **［ポート直接入力］を選択して、［次へ］をクリックします。**

2 **下表を参照し、各項目を入力して［次へ］をクリックします。**

項目名	内容
プリンタのIPアドレスまたは名前を入力してください。	プリンタを指定するための IP アドレス / ホスト名 /FQDN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	［プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。］に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

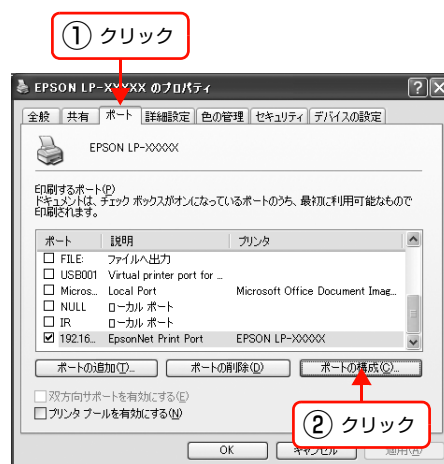
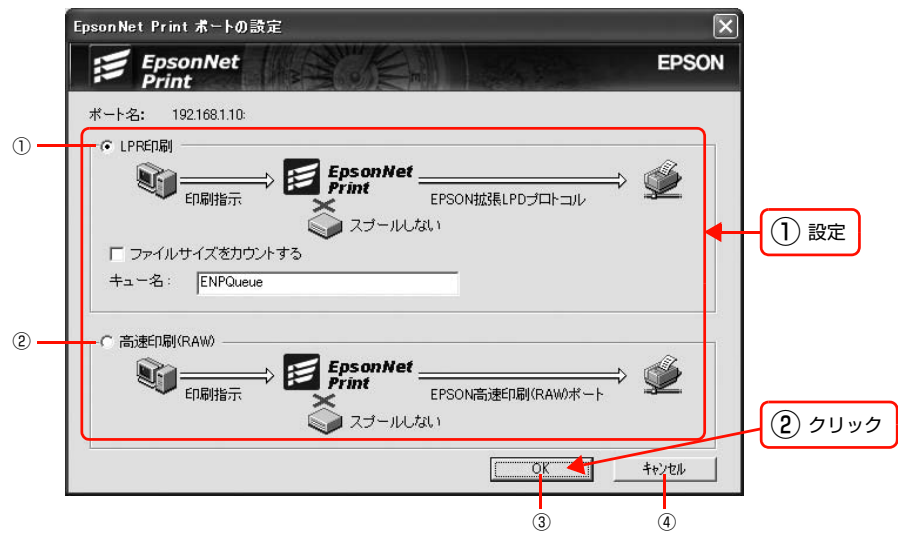
3 **画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方式を変更する

印刷データの送信方法などが設定できます。

1 **［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。**
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ ］（または［スタート］）－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック
Windows 7：［ ］－［デバイスとプリンター］の順にクリック
上記以外の Windows（Windows Server 2003 を除く）：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］（または［プリンターのプロパティ］）をクリックします。**
Windows Vista：プリンタアイコンを右クリックし、［管理者として実行］－［プロパティ］をクリック

3 **プロパティの画面で、［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックします。**
Windows 95/Windows 98/Windows Me：
プロパティ画面－［詳細］タブ－［ポートの設定］をクリック

4 用途により印刷方式を切り替えます。

	項目名		内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックを付けるとより高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックを付けると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けられます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷するときに選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で終了です。

EpsonNet Config(Web)の使い方

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザから本製品を設定するソフトウェアです。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、下表の Web ブラウザが動作するコンピュータで使用できます。

対応 Web ブラウザ	• Internet Explorer Ver.4.01 以降 • Netscape Navigator Ver.4.05 以降（Windows） • Netscape Navigator Ver.7.0 以降（Mac OS） • Netscape Communicator 4.0 以降 • Apple Safari Ver.1.2 以降

Windows NT 4.0 で利用するときは、Windows NT のバージョンを Service Pack 3 以降にアップグレードしてください。

Web ブラウザの設定に関する注意

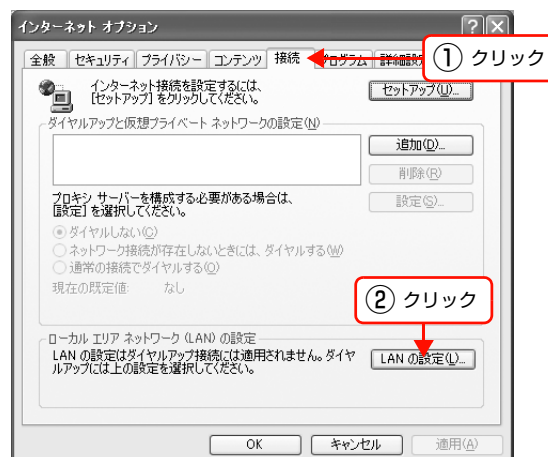
プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザの設定が異なります。

ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に、プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合の設定を合わせて説明します。

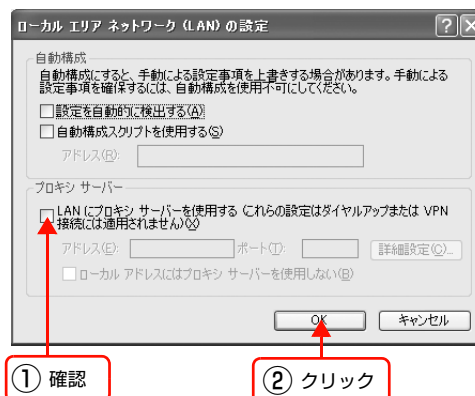
Safari からプロキシサーバを使用するときは、以下を参照して［システム環境設定］－［ネットワーク］－［プロキシ］で設定をしてください。
プロキシサーバを使用しないときは、設定不要です。
例：
ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

1 **Internet Explorer を起動します。**

2 **［ツール］－［インターネットオプション］をクリックします。**
Internet Explorer 4.0：［表示］－［インターネットオプション］をクリック

3 **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。**
Internet Explorer 4.0：
［接続］タブをクリックして手順 4 に進む

4 プロキシサーバを使う場合、使わない場合ごとに設定を確認します。

プロキシサーバを使用する：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックを付ける
プロキシサーバを使用しない：
［LANにプロキシサーバーを使用する］のチェックを外す

- Internet Explorer 5.x：
［プロキシサーバーを使用する］を確認
- Internet Explorer 4.0：
［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］を確認

以上で終了です。

起動

EpsonNet Config（Web）のインストールは不要です。ただし、以下の設定をしておいてください。

①設定に使うコンピュータへの IP アドレス設定
本書 11 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール
本書 81 ページ「動作環境」

③本製品への IP アドレス設定
本書 24 ページ「本製品の設定」

EpsonNet Config（Windows/Mac OS）と EpsonNet Config（Web）から、同じネットワークインターフェイスに対して同時に設定しないでください。

参考 お使いの Web ブラウザによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザおよび OS の取扱説明書を参照してください。

Web ブラウザから起動

Windows の場合は Web ブラウザを起動し本製品の IP アドレスをアドレスバーに入力して、［Enter］または［return］キーを押します。

このとき、EpsonNet Config（Windows/Mac OS）を起動させないでください。

書式）http:// 本製品の IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config（Web）が起動できないときは、ネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。

Mac OS X で Safari から起動する場合は、以下の手順で起動してください。

1 メニューから［Safari］-［環境設定］を選択します。

2 ［ブックマーク］ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

ブックマークバー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）
ブックマークメニュー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）

3 **アドレスバー下のメニューに追加された［Bonjour］（または［Rendezvous］）をクリックし、リストから本製品を装着したプリンタ（Bonjour/Rendezvous プリンタ名）を選択します。**

EpsonNet Config（Web）が Safari 上で表示されます。
このとき、EpsonNet Config（Windows/Mac OS）は起動しないでください。

EpsonNet Config(Windows/Mac OS)から起動

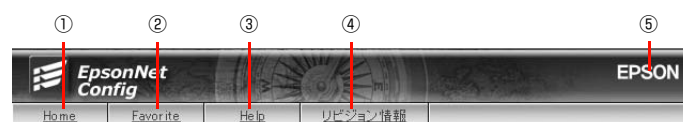
EpsonNet Config（Windows/Mac OS）のリスト画面から、本製品を装着したプリンタを選択して［ブラウザの起動］をクリックします。

各項目の説明

インデックスとメニューの詳細を説明します。お使いの製品によっては、メニューや各項目内の詳細などが表示されないことがあります。各メニューの詳細は、EpsonNet Config（Web）のヘルプを参照してください。

［プリンタ］項目の詳細を表示させるには、Java Plug-in をインストールしておいてください。表示されないときは、以下の URL から Plug-in をダウンロードしてください。

http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/java/

インデックス

① Home

オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite

［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は［オプション］－［管理者情報］の［お気に入り名］で変更できます。

③ Help

ヘルプが表示されます。

④リビジョン情報

リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON

エプソンのホームページが別ウィンドウで表示されます。

メニュー

メニューには［情報］と［設定］の２つのメニューがあります。

各メニューの詳細については、EpsonNet Config（Web）のヘルプを参照してください。

[情報] メニュー

本製品の設定状況を確認できます。

項目	内容
基本情報	本製品の情報が表示されます。
TCP/IP	TCP/IP の設定状況が表示されます。
AppleTalk	AppleTalk の設定状況が表示されます。
MS Network	MS Network の設定状況が表示されます。
IPP	IPP の設定状況が表示されます。
SNMP	SNMP の設定状況が表示されます。
アクセス制御	本製品へのアクセス制御の設定状況が表示されます。
タイムアウト	プロトコルごとのタイムアウト時間の設定状況が表示されます。
時刻	タイムサーバの設定状況が表示されます。

[設定] メニュー

本製品について、項目ごとに設定できます。

ネットワーク

項目	内容
Ethernet	通信速度と通信モードを設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
MS Network	MS Network を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
アクセス制御	本製品へのアクセス制御をすることができます。
タイムアウト	プロトコルごとのタイムアウト時間を設定することができます。
時刻	タイムサーバに関する設定をします。

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの［Favorite］からリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	各種ネットワーク設定のリセットおよび本製品を工場出荷時設定に戻します。
パスワード	本製品の設定を保護するために、パスワードを設定します。

7 付録

EpsonNet ソフトウェアの削除方法

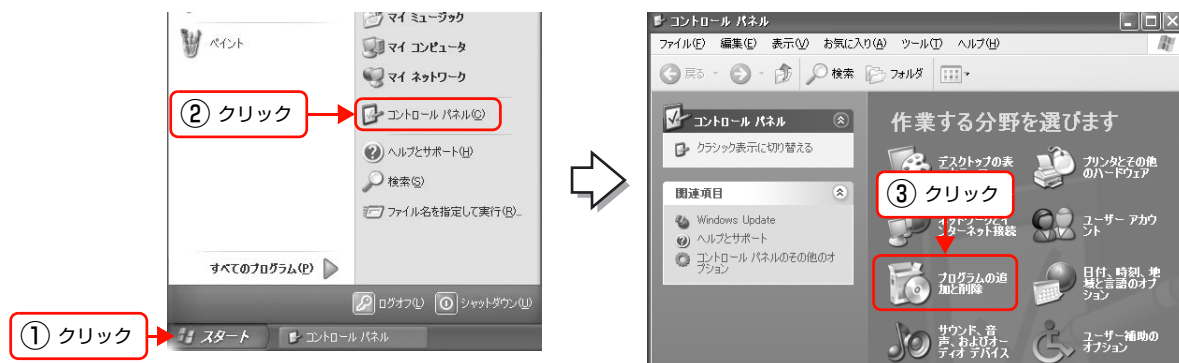
各 OS ごとの削除方法を説明します。

☞ 本書 86 ページ「Windows 用ソフトウェアを削除する」
☞ 本書 87 ページ「Mac OS 用ソフトウェアを削除する」

Windows 用ソフトウェアを削除する

Windows 用ソフトウェアを削除する方法を説明します。EpsonNet Config を削除するときは、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **[スタート] − [コントロールパネル] の順にクリックして、[プログラムの追加と削除] をクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7：
[ ] (または [スタート]) − [コントロールパネル] − [プログラムのアンインストール] の順にクリック
上記以外の Windows：[スタート] − [設定] − [コントロールパネル] − [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリック

2 **削除するソフトウェアを選択して、[削除] (または [変更と削除]、[アンインストール]) をクリックします。**

Windows Vista：[アンインストール] (または [アンインストールと変更]) をクリックして、[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリック

3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

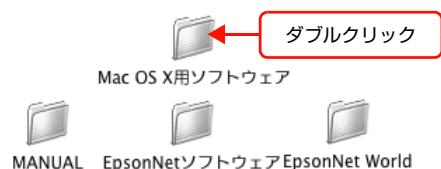
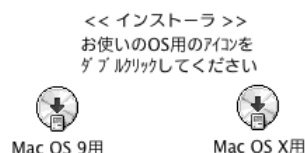
以上で終了です。

Mac OS 用ソフトウェアを削除する

Mac OS X で、EpsonNet Config Ver.3 を削除する方法を説明します。管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

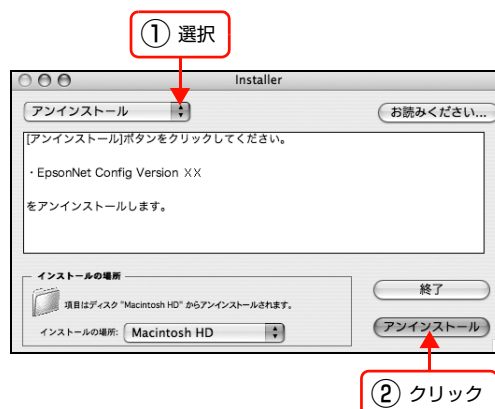
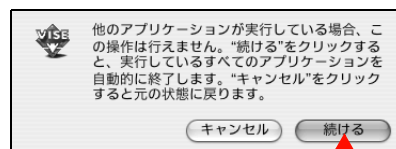
1 コンピュータに、本製品のソフトウェア CD-ROM をセットして、デスクトップの［EPSON］をダブルクリックします。

2 ［Mac OS X 用ソフトウェア］—［EpsonNet ソフトウェア］—［EpsonNet Config］の順にダブルクリックして開きます。

ソフトウェア CD-ROM の画面は、実際の表示と異なることがあります。

3 表示されたアイコンをダブルクリックします。［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

4 表示された画面で［続ける...］をクリックします。

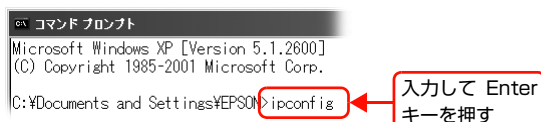
5 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認して、［同意］をクリックします。

6 画面上部のリストから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］をクリックします。

7 ［続ける］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

9 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

PING コマンドによる通信確認方法

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピュータに設定された IP アドレスと本製品に設定した IP アドレスを確認してから、コンピュータと本製品の通信ができているか確認します。

本書 89 ページ「Windows NT4.0 以降で確認する」
本書 90 ページ「Windows 95/Windows 98/Windows Me で確認する」
本書 91 ページ「Mac OS X で確認する」

Windows NT4.0 以降で確認する

1 **[スタート]（または [ ]）－ [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] の順にクリックします。**

2 **キーボードから [ipconfig] と入力して、[Enter] キーで実行します。**

3 **IP アドレスを確認します。**
「Ethernet adapter ローカル エリア接続」の「IP Address」を確認します。

4 **本製品の IP アドレスを確認します。**
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
『セットアップガイド』（紙マニュアル）

5 **キーボードから [ping] スペース [本製品の IP アドレス] を入力して、[Enter] キーで実行します。**

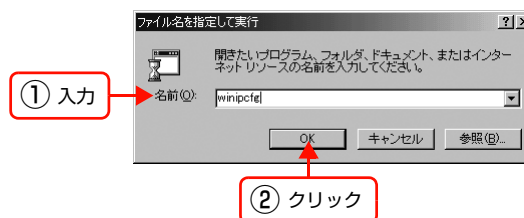
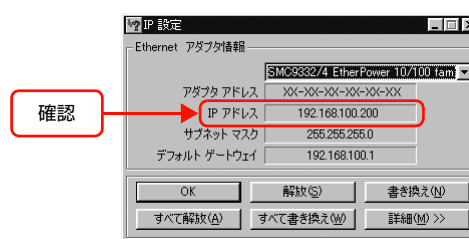
6 **通信しているときは、図 1 のように [Reply from 本製品の IP アドレス] が表示されます。通信していないときは画面に [Destination host unreachable] や、図 2 のように [Request timed out] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。**

図 1　図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Windows 95/Windows 98/Windows Me で確認する

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。

2 ［名前］欄に［winipcfg］と入力して、［OK］をクリックします。

3 IP アドレス欄を確認します。

4 IP アドレスの確認ができたら、［OK］をクリックします。

5 本製品の IP アドレスを確認します。
IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

6 ［スタート］－［プログラム］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリックします。
Windows Me：［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリック

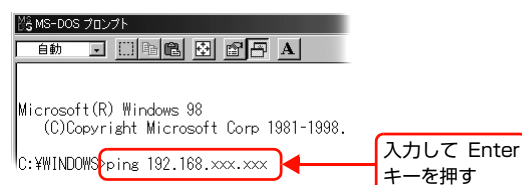
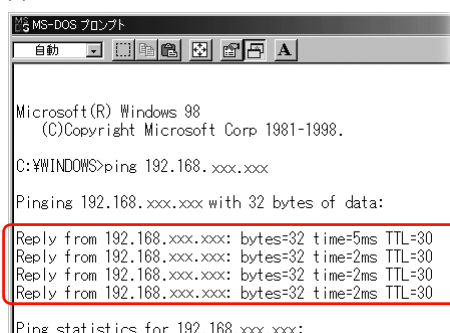
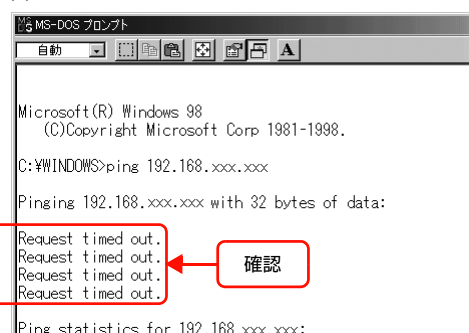
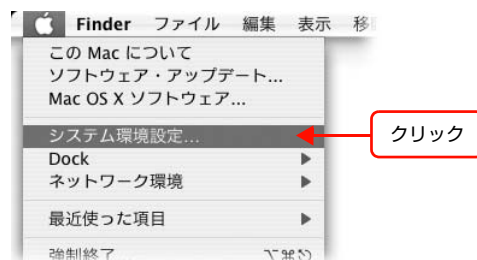
7 キーボードから［ping］スペース［本製品の IP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。

8 通信しているときは、図 1 のように［Reply from 本製品の IP アドレス］が表示されます。通信していないときは画面に［Destination host unreachable］や、図 2 のように［Request timed out］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1　図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Mac OS X で確認する

1 **［アップル］メニュー－［システム環境設定］の順にクリックします。**

2 **［ネットワーク］をクリックして、［ネットワーク環境：］で［自動］が選択されていることを確認します。**

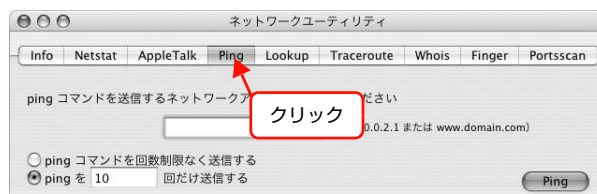
3 **［表示］からお使いのネットワーク（内蔵 Ethernet など）を選択します。**
Mac OS X v10.5.x 以降：
画面左側の項目からお使いのネットワーク（Ethernet など）を選択します。

4 **［TCP/IP］タブをクリックします。**
Mac OS X v10.5.x：
3 で［Ethernet］を選択した場合は、5 に進みます。

5 **［IPv4 の設定］リストから、ネットワーク環境に合わせて項目を選択します。**
Mac OS X v10.5.x 以降：
3 で［Ethernet］を選択した場合は、［構成］からネットワーク環境に合わせ項目を選択します。
DHCP サーバを使用している場合は［DHCP サーバを参照］または［DHCP サーバを使用］を選択、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

6 **［IP アドレス］を確認します。**
Mac OS X v10.5.x：
3 で［Ethernet］を選択した場合は、［IPv4 アドレス］を確認します。

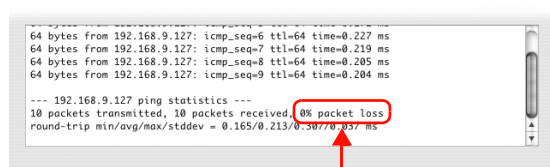
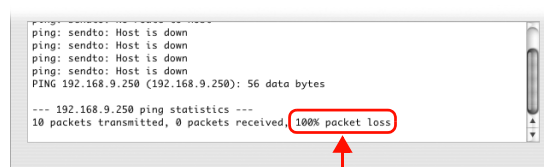
7 **［Macintosh HD］（または移動）－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。**

8 **［Ping］タブをクリックします。**

9 **ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレスを入力します。**

本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）

10 **［Ping］をクリックします。**

11 **通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図 1 のように［0% packet loss］が表示されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように［100% packet loss］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。**

図 1　　図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

用語集

16 進数
0 ～ 9 の数字と、a ～ f までのアルファベット 6 文字を数字として用いて表現する。

A

APIPA（エーピーアイピーエー）
Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信できる。

AppleTalk（アップルトーク）
すべての Mac OS に標準搭載の LAN システム規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Mac OS の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP（アープ）
Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

B

Bonjour（ボンジュール）
Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。Mac OS X v10.3 までは Rendezvous（ランデブ）といわれていた。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Bonjour/Redezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

D

DHCP（ディーエイチシーピー）
Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS（ディーエヌエス）
Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk（イーサートーク）

Mac OS 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。LAN を使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。LAN を接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

F

FQDN（エフキューディーエヌ）

Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）とドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

I

IPP（アイピーピー）

Internet Printing Protocol。IPP を使うことで、インターネットを経由した印刷が可能となる。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR（エルピーアール）

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB（ミブ）

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやり取りされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NetBEUI（ネットビューイ）

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

P

PING（ピング）

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストをして、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して PING コマンドを実行して、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

R

Rendezvous（ランデブ）

Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。Mac OS X v10.4 以降では Bonjour（ボンジュール）に名称変更された。

S

SNMP（エスエヌエムピー）

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、ハブ、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

T

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP（ユーピーエヌピー）

Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識できる。

い

インターネット印刷

Windows 2000 以降の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタに印刷できる。

え

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これによって、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

け

ゲートウェイ
クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータといい、ゲートウェイとは区別する。

さ

サブネットマスク
TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

し

シールドツイストペアケーブル
電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。LAN ケーブルや電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型という。

そ

ゾーン名
AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

た

ダイナミック DNS
IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ね

ネットワーククラス
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。例えば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

は

ハブ
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

索引